

令和4年度

旅客フェリー活性化事業 事業報告書



令和5年3月
国土交通省
北海道運輸局室蘭運輸支局

目 次

I 事業目的	・・・	2
II 事業内容	・・・	3
III 送客事業（体験会実施概要）	・・・	4
IV 送客事業（アンケート）	・・・	11
V 誘客事業	・・・	17
VI まとめ	・・・	18

（参考資料）

I プレス資料	
II ～ III アンケート回答まとめ（大洗航路・仙台航路）	
IV 令和5年度以降の予定事業（案）	

I 事業目的

新型コロナウイルスの感染拡大を契機に社会環境や日常生活は大きく変化し、感染防止のための行動制限等により、私たちの行動や意識は大きく変容しています。

このような中、2020年の苫小牧港を発着するフェリーの旅客利用者数は、新型コロナウイルス発生前の2019年と比較して約43%減少し、2022年と2019年の7月の比較でも未だ20%程度減少しており、依然として新型コロナウイルス発生以前の水準に戻っていません。

新型コロナ禍にあつてフェリーの旅客利用者数が大きく減少する一方、2020年の国内全体の貨物輸送量は、2019年と比較して7%程度の減少に留まり、苫小牧港を発着するフェリーの貨物輸送においては、2022年と2019年の7月を比較すると2%程度増加に転じ、新型コロナウイルス発生後も国内物流は堅調に推移していることが窺えます。

他方で、この物流を担う海事・物流産業では、従来からの少子化と船員やトラックドライバー等の高齢化に伴う人手不足に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による巣ごもり需要等を起因とした電子商取引や、ネットショッピング等の需要拡大に伴って、人材の確保と育成が喫緊の課題となっています。

経済・産業の成長を支える物流は、私たちの豊かな暮らしを支える極めて重要な社会インフラであるとともに、生活に欠かせない大切な機能であつて、物流に生活を依存している私たちにとっては益々重要性を増しています。

特にフェリーは、地域住民の移動や生活物資の輸送手段であると同時に、輸送効率の面から環境に優しい輸送モードであることに加え、災害時には緊急車両、支援物資、人員の輸送手段や宿泊施設としても重要な役割を担っています。

さらに、海上輸送ならではの観光資源として、訪日外国人旅行者の取り込みにも寄与することが期待されています。

このような背景の下、北海道運輸局室蘭運輸支局では、海事・物流産業関係者や観光関係者等と連携して、教育旅行をベースに苫小牧港に就航する旅客フェリーの利用促進と、海事・物流産業の役割や重要性等を広く発信し、これら産業の理解醸成を図ることを目的に様々な取組を展開しています。

Ⅱ 事業内容

1. ターゲット

- (1) 北海道内中学校の修学旅行
- (2) 北海道内高校の修学旅行
- (3) 東北、首都圏の教育旅行

2. 事業内容

(1) 送客事業

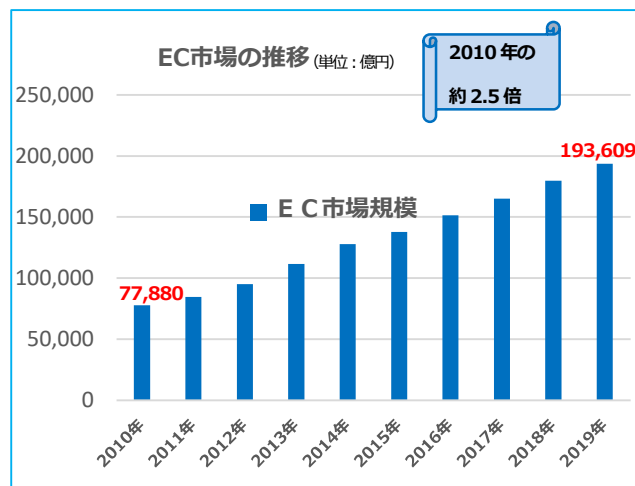
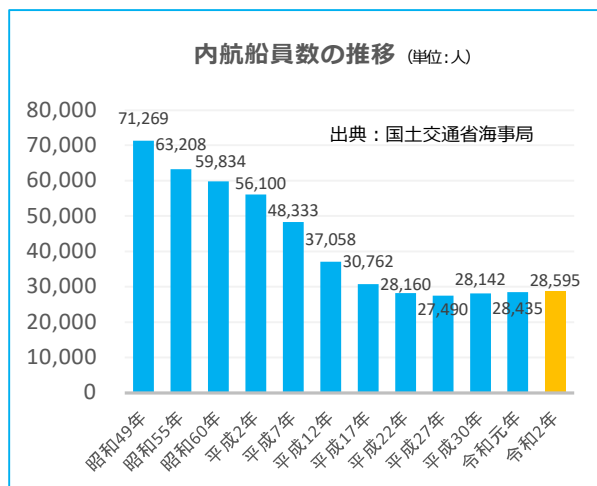
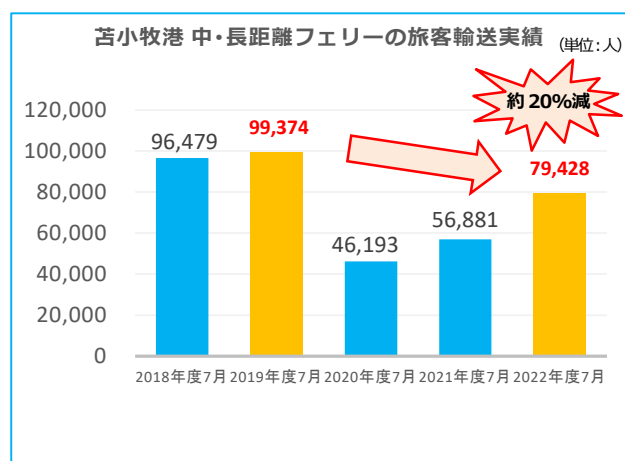
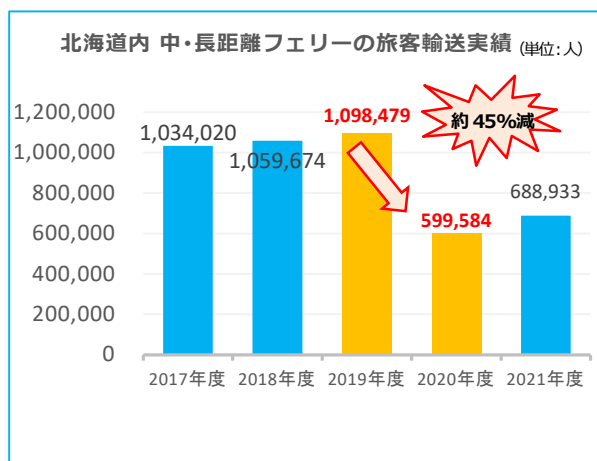
- ① 北海道内の教育関係者、旅行会社を対象としたファムトリップ実施
- ② 北海道内高校に対する教育旅行におけるフェリー利用の提案

(2) 誘客事業

- ① 北海道観光振興機構事業（教育旅行）と連携した取組
 - I) 東北、首都圏をターゲットにした教育関係者等の招へい
 - II) 東北、首都圏の教育関係者と旅行会社に対する教育旅行説明会・相談会参加
- ② 東北エリア（岩手県、宮城県、福島県）の私立中学校に対する事業説明

(3) サポーターづくり事業

- ① 送客事業、誘客事業と連動した取組
- ② 北海道内の教育委員会と中学校に対する事業案内



Ⅲ 送客事業（体験会実施概要）

「フェリーを利用する修学旅行体験会」実施

日本は四方を海で囲まれた海洋国家であるため、貿易や漁業など海を利用して様々な恩恵を受けています。他方で、日本は資源に乏しいため、私たちの「衣・食・住」の基となる原材料のほとんどは海外から輸入され、このうちの99.7%（重量ベース）は海上輸送が担っており、私たちの暮らしは海上輸送によって支えられています。

国内の貨物輸送に目を向けると、2020年度に国内で運ばれた貨物の約92%（重量ベース）は貨物自動車（トラック）が担っており、トラック等による陸上貨物輸送は、ドア・ツー・ドア輸送のほか、港湾、空港、貨物駅からの集配輸送等、トラック以外の輸送機関の補完的機能を果たし、国内貨物輸送の中心的な役割を担っています。

今般、旅客フェリーの利用促進と海事・物流産業の重要性等の理解醸成を図る取組をマッチングさせ、フェリーを利用する修学旅行の実用性のPR等を目的とした、「フェリーを利用する修学旅行体験会」を次のとおり開催しました。

1. 目的

- （1）学習プログラムの効果を関係者に訴求し、フェリーを利用した多様な教育旅行商品開発の促進。
- （2）フェリーをはじめとする海事・物流産業施設を利用し、キャリア教育やSDGsを意識したプログラムを構成して、フェリー利用の優位性と実用性をPR。
- （3）教育旅行商品開発のためのトライアル。
- （4）教育関係者と旅行会社による学習プログラムのクオリティ等の検証。

2. 日程等

（大洗航路利用）

と き：令和4年9月9日（金）～11日（日）

参加者：7名（北海道内の教育関係者5名、旅行会社2名）

行 程：苫小牧港～茨城県、福島県、宮城県

（仙台航路利用）

と き：令和4年9月30日（金）～10月2日（日）

参加者：11名（北海道内の教育関係者3名、旅行会社8名）

行 程：苫小牧港～宮城県

3. 主な内容

<1日目>

- （1）海事・物流産業施設見学等

RORO船、物流倉庫、フェリー荷役及び客室等、荷役機械体験乗車など

- （2）特別授業（講話）

通関士、水先人、フェリー船長、北海道運輸局

<2日目>

- （1）特別授業（講話）

フェリー航海士およびアテンダントクルー（大洗航路）

（2）東日本大震災被災地等訪問

- ・仙台市立荒浜小学校（仙台航路）
- ・みやぎ東日本大震災津波伝承館（仙台航路）
- ・女川町観光協会（震災語り部ガイド）（仙台航路）

（3）自然・歴史・文化学習

- ・徳川ミュージアム（大洗航路）
- ・弘道館（大洗航路）

＜3日目＞

（1）東日本大震災被災地等訪問

- ・いわき震災伝承みらい館（大洗航路）
- ・山元町立中浜小学校（大洗航路）

（2）自然・歴史・文化学習

- ・環境水族館アクアマリンふくしま（大洗航路）
- ・仙台うみの杜水族館（仙台航路）
- ・JRフルーツパーク仙台あらはま（仙台航路）
- ・仙台城跡・青葉城資料展示館（仙台航路）
- ・伊達政宗公霊屋 瑞鳳殿（仙台航路）

4. 主 催：国土交通省北海道運輸局室蘭運輸支局

商船三井フェリー(株) 苫小牧支店

太平洋フェリー(株) 北海道支店

苫小牧港開発(株)

5. 協 力：苫小牧栗林運輸(株)、協同組合苫小牧タグセンター、苫小牧地区倉庫協会、
苫小牧埠頭(株)、苫小牧水先区水先人会、ナラサキスタックス(株)、
(株)フジトランスコーポレーション北海道支店、北海道海事広報協会、
北海道港運協会、北海道内航海運組合、室蘭地区トラック協会（五十音順）

～体験会スケジュール 大洗航路～

1日目 9月9日 (金)	オリエンテーション = RORO船内見学 = 一般貨物船見学 = 物流倉庫見学 = 昼食 (苫小牧西港FT) (鋼材船) = 輸入コンテナ貨物見学 = 特別授業(講話) = コンテナ荷役デモ = 特別授業(講話) ・通関士のお話 荷役機械体験乗車 ・水先人のお話 ・フェリー船長のお話 = フェリー船内・荷役見学 = 夕食(船内レストラン)
2日目 9月10日 (土)	～ 朝食 = 特別授業(船内講話) = 意見交換会 = 記念撮影 = 昼食 = 大洗港 ・船のしごとのお話 (船内レストラン) (14:00着) = 水戸市歴史文化等の学び = ホテル着 (徳川ミュージアム見学) (18:30着) (弘道館見学)
3日目 9月11日 (日)	ホテル発(8:30発) = 環境水族館アクアマリンふくしま見学 = いわき震災伝承みらい館見学 (震災学習) = 中浜小学校 = 仙台空港発 ～ 新千歳空港 = 苫小牧西港FT着(解散) (震災学習) (16:55発) (18:05着) (19:00着)

～体験会スケジュール 仙台航路～

1日目 9月30日 (金)	オリエンテーション = 運輸局授業 = RORO船内見学 = 昼食 (苫小牧西港FT) (船のSDGs) (自動車運搬船) = 物流施設見学 = 特別授業(講話) = フェリー船内&荷役見学 ~ 夕食 ~ ・水先人のお話 (船内レストラン) ・フェリー船長のお話
2日目 10月1日 (土)	~ 朝食 ~ 仙台港 = 荒浜小学校 = 昼食 (10:00着) (震災学習) = みやぎ東日本大震災津波伝承館 = 女川町観光協会 = ホテル着 (震災学習) ~女川の語り部~ (17:30着)
3日目 10月2日 (日)	ホテル発 = 仙台うみの杜水族館 = JRフルーツパーク仙台あらはま = 昼食 (8:30発) = 歴史学習(伊達政宗の生涯) = 仙台空港 ~ 新千歳空港 = 苫小牧西港FT着(解散) ・仙台城跡・青葉城資料展示館 (16:55発) (18:05着) (19:00着) ・伊達政宗公霊屋「瑞鳳殿」

6. 取組経過

(1) 関係機関等に対する協力依頼と事業提案

事業の実施にあたっては、苫小牧市、苫小牧港管理組合に対する協力依頼と、フェリー関係者、海事・物流事業者および団体に対する事業提案を行い、全機関より快諾を得て実施した。

【協力依頼先】

苫小牧市（産業経済部）

苫小牧港管理組合

【事業提案】

令和4年3月 苫小牧港開発(株)

令和4年4月 苫小牧港フェリー利用促進連絡会（フェリー4社）

令和4年5月 港湾運送事業者各社、倉庫事業者各社、苫小牧地区倉庫協会、内航海運事業者、苫小牧水先区水先人会、協同組合苫小牧タグセンター

令和4年6月 室蘭地区トラック協会

(2) 教育関係者、観光関係者に対する体験会実施案内

① 実施案内

体験会の実施に際しては、北海道内の教育関係者および旅行会社を訪問し、フェリーを利用する修学旅行の優位性や実用性等についての案内を行い、特に、フェリーを利用した場合のセールスポイントを中心に説明を行った。

② セールスポイントの内容

I) 海事・物流産業施設見学により、日本と世界の結びつきや国内と北海道の結びつきの理解が深められる。

II) 海事・物流産業等の学びを基に、生徒自身の日常生活と海事・物流産業等の関わりが理解が深められる。

III) 船長や海事・物流企業等の社員等の講話により、海事・物流産業への理解が深められる。

(3) 教育関係者、観光関係者に対する協力依頼

「フェリーを利用する修学旅行体験会」は、北海道内の教育関係者と旅行会社を招請して実施するため、事業の説明と体験会参加への協力依頼を行った。

訪問先は次のとおり。

【教育関係者】

令和4年6月	帯広市立帯広第一中学校
	帯広市立帯広第四中学校
	帯広市立南町中学校
	帯広市立大空学園義務教育学校
	音更町立緑南中学校
	幕別町立札内中学校
令和4年7月	室蘭市教育委員会
	北海道大谷室蘭高等学校
	登別市立幌別中学校
	様似町立様似中学校
	追分町立追分中学校
令和4年8月	苫小牧市教育委員会
	登別市立緑陽中学校
	登別市立鷺別中学校
令和5年2月	安平町教育委員会
	厚真町教育委員会
	むかわ町教育委員会
	平取町教育委員会
	新冠町教育委員会
	新ひだか町教育委員会
	浦河町教育委員会
	様似町教育委員会
	えりも町教育委員会

【観光関係者等】

令和4年4月	(公社) 北海道観光振興機構
令和4年5月	(株) 日本旅行北海道苫小牧支店
	名鉄観光サービス(株) 苫小牧支店
	(株) JTB北海道
	東武トップツアーズ(株) 札幌支店
令和4年6月	近畿日本ツーリスト(株) 北日本支社
	近畿日本ツーリスト(株) 帯広営業所
	(株) 日本旅行北海道札幌支店
	(株) 日本旅行北海道帯広支店
	名鉄観光サービス(株) 札幌支店
	全国旅行業協会北海道支部
	北海道旅行業協同組合
	登別市(観光経済部)
令和4年7月	登別市(観光経済部)
令和4年8月	北海道胆振総合振興局(地域創生部)

(4) プレス

令和4年9月5日 北海道運輸局、室蘭運輸支局、苫小牧海事事務所合同プレスリリース実施。

報道内容は次のとおり。

【新聞各紙】

- 10月7日 北海道新聞電子版
- 10月8日 北海道新聞（夕刊1面）
- 10月14日 物流ニッポン
- 10月15日 北海道新聞電子版コラム
- 11月3日 苫小牧民報

【北海道新聞 夕刊 1面】

【苫小牧民報】

【北海道新聞電子版】

【物流ニッポン】

7. プログラム

(1) 海事・物流施設見学等

【1日目】

生徒自身の日々の暮らしは物流によって成り立っていることが理解できる内容を意識し、RORO船や物流倉庫等の施設見学、港湾荷役機械や大型貨物自動車の体験乗車、フェリー荷役の見学を行いました。

また、令和3年度に実施した同様の体験会で得られたアンケート結果から、キャリア教育の視点とSDGsの学びを意識した特別授業として、通関士、水先人、フェリー船長、航海士、アテンダントクルーからの仕事紹介と、北海道運輸局職員による環境面を含めた船の優位性等の講話を実施しました。

【RORO船見学】



【倉庫見学】



【港湾荷役機械体験乗車】



【フェリー荷役見学】



【特別授業（水先人、フェリー船長、アテンダントクルー）】



(2) 東日本大震災被災地訪問等

【2日目】【3日目】

2011年3月11日に発生した東日本大震災による津波によって海の危険性が改めて認識され、四方を海で囲まれた日本の地理的特性から沿岸部に人口が集中することは避けがたく、将来においても再び津波の被害リスクに直面することが予見されます。

そのような中、学校教育現場においては新しい学習指導要領により、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解させることが求められています。

このようなことから、東日本大震災の津波と教訓に加え、この津波災害を乗り越えて前へと進んでいく被災地の姿を伝える東日本大震災津波伝承館や荒浜小学校等、震災遺構として保存・整備された施設を訪問して、「いのち」の尊さ、人への思いやり、支え合うことの大切さ等を学んできました。

また、国宝に指定されている伊達政宗の霊屋「瑞鳳殿」、近世日本の教育遺産群として日本遺産に登録されている「弘道館」、海を通して「人と地球の未来」を考える、を理念とする「環境水族館アクアマリンふくしま」等を見学し、東北地方の自然、文化、歴史にも触れてきました。



IV 送客事業（アンケート）

1. アンケート結果

学びのコンテンツのクオリティ等を検証するため、参加者を対象に体験会終了後にアンケート調査を行った。

アンケートで得られた主な内容は次のとおり。

なお、ここに記載する考察は、主に教育関係者からは学びの視点を、旅行会社からは教育関係者へ提案する際の視点を参考に検証し記載する。

【アンケート内容（抜粋）】

① 設問：今回の体験会に期待したもの

<回答>

（教育関係者）

- ・今後の修学旅行のあり方
- ・苫小牧での体験
- ・キャリア教育内容
- ・RORO船、物流倉庫の見学
- ・今後の修学旅行コースの検討
- ・今後修学旅行を企画するにあたって、学習内容、安全対策、感染症対策等の判断材料
- ・スケジュールの妥当性
- ・苫小牧～大洗航路の体験
- ・震災学習について

（旅行会社）

- ・修学旅行の新しい提案素材
- ・苫小牧港での学びの造成の可能性
- ・フェリー関係での学習効果
- ・フェリーの利便性、乗り心地の体験
- ・震災学習について

<考察>

教育関係者にあっては、「キャリア教育内容」や「RORO船、物流倉庫の見学」等、事前に行ったセールスポイントを中心とした説明内容が、体験会への期待感として反映されている。また、「今後の修学旅行のあり方」や「今後修学旅行を企画するにあたって、学習内容、安全対策、感染症対策等の判断材料」等の意見があることから、フェリーを利用する新たな修学旅行の提案を行う私たち関係者にとって、当事業の実施が課題解決に対する取組手法として有効なものであると確信をもてるコメントが得られている。

旅行会社にあっては、「修学旅行の新しい提案素材として」や、学びの商品としての「造成の可能性」に対する期待感があることから、体験会開催の狙いや目的は十分に伝わっていたと推察される。

期待感に対する満足度は、教育関係者の20件中18件で、旅行会社の22件中17件で「非常に満足」「やや満足」との回答を得ていることから、プログラム内容は参加者の期待に十分に応える内容であったと推察される。

② 設問：1日目の体験を通して海事・物流産業に対する理解が深められる内容でしたか。

<回答>

(教育関係者のみ)

- ・日本では欲しいものがすぐに手に入るが、商品の生産から手元に届くまでの過程を理解することで、物流と経済の関わりを学べるほか、これを支える方々への感謝する心も育てられると感じた。
- ・このように物流が行われているのは知らなくて、本当に勉強になった。
- ・フェリーに馴染みのない生徒にとっては、乗船の体験だけでなく、船内での仕事の内容や講話などを通して、大きく視野を広げる可能性を感じた。
- ・船内・倉庫での体験に感動した。
- ・理解を深めたいと感じる導入として有意義なプログラムでした。
- ・これから何を見に行くのか説明を聞き、実際見て感じる一連の流れでしたので、現在進行形で進んでいる貿易というものを実感できたと感じました。
- ・海事・物流産業について理解を深めることができました。

<考察>

1日目のプログラムは、中学校学習指導要領（2017年改定）の「陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界の結び付きの特色を理解すること。」を意識し、海事・物流産業の施設見学とこれらの企業で働く社員等の講話によって、生徒自身の日常生活とこれら産業との関わり等の理解を目的に構成した。

アンケートでは、商品の生産から手元に届くまでの過程の理解に加えて、これに関わる人たちに対する感謝する心の育み効果も指摘されていることから、プログラムの構成意図に対する学びの内容として、有益で適切なものであったと評価できる。

③ 設問：修学旅行として実施するにあたり、改善すべき点を教えて下さい。

<回答>

(教育関係者)

- ・往路でフェリーを利用すると、疲労感や船酔いによる体調不良が懸念され、フェリーを利用するのであれば復路が現実的だと思う。
- ・船内での過ごし方に工夫が必要であると感じ、船舶関係者による講話や普段見ることができない船内の見学、自主研修の工夫があると良いと思う。
- ・講義形式が多いのがネックと感じました。
- ・修学旅行として、道内の中学校は道内での研修ではなく、道外での研修に時間を費やしたいと考えます。
- ・1日目が苫小牧で夜出発というのは、生徒たちとしては少し疑問に感じるかもしれません。
- ・中学校の地域学習としては、1年生では地元、2年生では道内、3年生では道外と活動の場を広げていく場合が多いです。
- ・「震災学習」の施設やコンテンツを比較するのに有意義ではあったが、同様の施設を複数見学するのは、限られた修学旅行の日程では現実的ではない。
- ・より多くの感動体験を経験できるようなコース設定が必要だと感じた。
- ・3泊4日の修学旅行であれば良いのですが、2泊3日の場合、スケジュール的に厳しいと感じました。

・2日目、3日目の日程は、自由見学の時間や土産物購入の時間など設ける必要を感じます。

・プログラムを整理、昼食会場の選定などで時間が生み出せないかと感じた。

(旅行会社)

・札幌市内中学校は大型校が多いため、どのように見学地を回すかなどコーディネートいただけると非常に有難いです。

・今後、これらのコンテンツを提案するにあたり、実施可能な時期や対応可能な人数、料金等を明確にする必要があるかと思います。

・見学時間、受入人数、料金など、まずはこの部分を詰めて貰えると私たち旅行会社も学校へ提案しやすいです。

・講話などはある程度日程を押さえやすいと思うが、RORO船の体験などはその時次第になってしまう部分もあるので、修学旅行では必ず見られるような保証があればより提案しやすい。

<考察>

(教育関係者)

船内での過ごし方の工夫として、船舶関係者の講話や船内見学実施等の意見が提示されている。フェリー利用を提案する場合には船内での学び等、フェリーならではのプログラムを提供することが有効と考えられ、関係者と多様なプログラムの開発を促進することが求められる。

苫小牧市内からの参加者意見として、「道内の中学校は道内の研修ではなく、道外での研修に時間を費やしたいと考えます。」「1日目が苫小牧で夜出発というのは、生徒たちとしては少し疑問に感じるかもしれません。」との意見があるが、苫小牧市以外から参加された方からは同様の意見がないことから、「旅行感」にも着目し、取組のターゲットエリアを考慮する必要性を感じた。

「中学校の地域学習としては、1年生では地元、2年生では道内、3年生では道外と活動の場を広げていく場合が多い。」「自主研修の工夫があると良いと思う。」との意見があることから、見学施設先を含む海事・物流産業に関する事前学習ができる資料の提供や、自主研修等で学校が求める内容の盛り込みについて対応することが肝要と考えられる。

「同様の施設を複数見学するのは、限られた修学旅行の日程では現実的ではない。」

「より多くの感動体験を経験できるようなコース設定が必要だと感じた。」等、行程に対する改善の意見や仙台航路参加者から「講義形式が多いのがネックと感じました。」等、プログラム内容に対する改善の意見も出されており、綿密なスケジュールとコンテンツの管理を行う必要がある。

(旅行会社)

コンテンツの提案にあたっては、実施時期や対応可能人数等、詳細な情報が必要との意見があることから、関係事業者と連携し資料作成を行う必要がある。

施設見学にあたっては、大型校受入時の見学方法について対応を求める意見があるが、コンテンツによっては大人数の受入は困難であるため、これについても、詳細な情報を記載した資料作成を行う必要がある。

また、当日の気象海象等の状況によって実施可否が決定されるコンテンツが含まれており、このリスクに関する懸念が示されているため、リスクヘッジのためのサポート体制を関係者と連携し万全にしていける必要がある。

④ 設問：修学旅行にフェリーを利用する場合に、ハードルと考えられることがあれば教えてください。また、その解消策へのアドバイスがあれば教えてください。

＜回答＞

（教育関係者）

- ・船中泊で1日増やすには、生徒や保護者、学校関係者が満足したと思える内容を企画する必要がある。
- ・現在、中学生の修学旅行では2泊3日が多く、フェリーを利用する場合、日程的に見学先数が制限されることが課題となると思います。
- ・移動時間が長い ⇒ 船内でしかできない職業体験・ウォークラリー型船内見学等を検討
- ・列車、自動車と比較して、利用経験のない生徒が多く想定されることから、船酔いや長時間の乗船により生じる体調不良への懸念がある。
- ・船酔いをした生徒の対応に不安を感じる。
- ・教員、管理職、保護者の理解を得るのも少々時間がかかるかもしれないと感じました。
- ・保護者への説明という点では、安全面での説明が不可欠な時期かと思います。
- ・費用面だけではなく、フェリーでしかできない体験学習などをご提案いただけると、検討する学校は増えるのではないかと思います。

（旅行会社）

- ・飛行機・JRの方が移動時間が短く安心と感じやすいため、コロナ対策、緊急対応等書面化が必要だと思います。
- ・旅行会社にとって電波が繋がらないのは不安でした。先生もですがグループLINE・電話でやり取りが行われているためWi-fiなど電波環境が整うと提案しやすいです。
- ・船中泊を入れるためには、現状の2泊3日から3泊4日に戻してもらう働きかけが必要。
- ・フェリーでの移動時間を有効活用できるように事前に見学地で行うガイドの解説を見ておいて、その見学地に行って講話からではなく見学とすぐに実施するなどができれば、無駄な時間を減らすことができるのではないかと思います。
- ・運航時間、一般客との接触、急病人対応、欠航時の対応。

＜考察＞

（教育関係者）

フェリーを利用した場合の日程増や、2泊3日で実施した場合の見学施設数の制約等に対する懸念が示されている一方で、「生徒や保護者、学校関係者が満足したと思える内容を企画する必要がある。」「フェリーでしかできない体験学習などをご提案いただけると、検討する学校は増えるのではないかと思います。」等、提案する学びの内容によっては課題をクリアできるヒントが得られていることから、今後も、課題の検証結果に基づき取組の磨き上げを行っていく必要がある。

船酔いに対する懸念が示されており、体験会実施の事前説明時においても、船酔いに対する懸念が多く示されていた一方で、フェリーを利用した修学旅行を実施したことのある教育関係者等からは、船酔いに対する懸念が示されることはなく、むしろどの交通機関を利用しても乗り物酔いは起こり得る、との感覚が多数を占めていた。

また、コロナ対策を含めた安全面に関する懸念も示されており、教員、保護者から理解を得られる安全対策に関する書面を作成することが必要となっている。

これらの意見を参考に、今後もフェリー乗船の未経験者に対するアプローチを継続して実施し、極めて高度に実施されているフェリーの安全対策への理解や、船酔いに対する過剰な意識の払拭を図ることが必要不可欠となっている。

(旅行会社)

教育関係者と同様に、コロナ対策を含めた安全面に関する懸念が示されており、上記に記載した対応が必須なものと理解できる。

旅行日程について、2泊3日から3泊4日に戻すための働きかけの必要性が提示されており、船中泊を認めていない教育機関に対する働きかけを行う必要がある。

⑤ 設問：今回の体験会に参加してみて、全体を通しての感想を教えてください。

<回答>

(教育関係者)

- ・ 苫小牧からの参加でしたが、住んでいても知らない海運の舞台裏を学ぶ良い機会となりました。
- ・ 苫小牧市が日本各地、世界との物流拠点であることを肌で感じ、地元愛の醸成や海に対する興味・関心を引き出すことが出来れば、フェリー利用の増進はもとより海運(物流)を担う人材の育成にも繋がると思います。
- ・ 現場を知る教員が増えることで生徒の学びの質も向上すると思うので、修学旅行に限らず、教員向けの見学会を開催することも効果的と感じました。
- ・ 道内宿泊研修の際の行程として、苫小牧を新たな選択肢として考える機会をいただきました。
- ・ 修学旅行では景色を見ること、人とふれあうこと、新しい体験をすることなど、様々な角度からより多くの感動体験を盛り込みたいと思う。
- ・ フェリーは、非日常的な洋上での体験など多くの感動体験を得られる場だと感じた。
- ・ 朝日の美しさ、海から見る陸、揺れなど様々な面で子どもたちにも1度は体験させてあげたいと感じます。
- ・ フェリー移動のメリットを十分に周知すると共に、現実的なモデルコースや金額の見積もりを提示することで、フェリーを利用したいと考える学校が増えることを期待したい。
- ・ 海に関わる学習内容として大変秀逸で、経済(物流)、科学や道徳として、自然への畏敬(津波)、恩恵、美しさ(水族館)と中学生でなくともツアーの中で感じる部分がありました。
- ・ 被災地での体験は、是非子どもたちにも体験していただきたい本当に貴重なものだと感じました。
- ・ 震災遺構からその後の復興、未来への希望と人と人とのつながりや強さにも大変感動しました。

(旅行会社)

- ・ 船中泊での船酔いを一番不安に思っていたのですが、過ごしてみると熟睡できるほど意外と快適で、ビュッフェ付き、温泉ありと設備の充実感に驚きました。そのままの感想を学校に伝えたいと思います。
- ・ 先生方と旅行会社が求めている情報は異なっていると思いますので、このような内容の濃い体験会を実施する際は完全に分けて実施していただければ、より良い内容を得られたかと感じました。
- ・ 教育旅行に必要な情報(収容人数、見学目安時間など)や周辺に何があるのか自由見学時間などがあれば、より提案する際に活かすことができたかと思っています。

<考察>

(教育関係者)

「住んでいても知らない海運の舞台裏を学ぶ良い機会となりました。」「苫小牧市が日本各地、世界との物流拠点であることを肌で感じ、地元愛の醸成や海に対する興味・関心を引き出すことが出来れば、フェリー利用の増進はもとより海運（物流）を担う人材の育成にも繋がると思います。」等から、海事・物流産業の重要性等の理解醸成の目的が達成できるレベルの内容であったと推察される。

世界や国内各地との結びつきの理解を含め、海事・物流産業等に対する学びの内容を磨き上げることで、修学旅行の誘致と人材確保の課題解消に寄与できる可能性が指摘されており、取組に自信と確信を得ることができている。

これらの意見に加えて、「道内宿泊研修の際の行程として、苫小牧を新たな選択肢として考える機会をいただきました。」との意見があり、令和5年度から本格的に取組を予定している海事・物流産業等に対する理解者（サポーター）づくりの取組に対し、教育機関側にもニーズがあることが見てとれる。

「フェリーは、非日常的な洋上での体験など多くの感動体験を得られる場だと感じた。」「朝日の美しさ、海から見る陸、揺れなど様々な面で子どもたちにも1度は体験させてあげたいと感じます。」等の意見から、普段できない特別な体験を提供し、非日常の時間空間を作り出し、JR等の交通機関と差別化を図ることで、修学旅行誘致の可能性を見出すことができている。

（旅行会社）

「過ごしてみると熟睡できるほど意外と快適で、ビュッフェ付き、温泉ありと設備の充実感に驚きました。そのままの感想を学校に伝えたいと思います。」との意見から、フェリー自体の快適性等を知ってもらう手段として、体験会の実施は有効と言える。

特に、乗船経験のない旅行会社スタッフがフェリーの魅力を体験することは、修学旅行商品以外のフェリー商品の開発に繋がることが想定されるため、旅客フェリー利用促進の有効策となり得る。

また、「先生方と旅行会社が求めている情報は異なっていると思いますので、このような内容の濃い体験会を実施する際は完全に分けて実施していただければ、より良い内容を得られたかと感じました。」「教育旅行に必要な情報（収容人数、見学目安時間など）や周辺に何があるのか自由見学時間などがあれば、より提案する際に活かすことができたかと思っています。」との意見から、今後の体験会の実施にあたっては、教育関係者と旅行会社とを分けて実施することが求められ、コンテンツにおける収容人数や見学目安時間、予算等、参加者が必要とする内容の提案ができるよう取り組むことが必要となる。

V 誘客事業

1. 北海道観光振興機構事業（教育旅行）と連携した取組

（1）令和4年度「北海道教育旅行説明会・相談会」（観光振興機構事業）へ参加

① 仙台会場（8／4開催）

- ・現地参加者：東北エリアの中学校教員と旅行会社20名
- ・内 容：全参加者に対するプレゼンテーションと個別機関に対する説明・相談会

② さいたま会場（8／5開催）

- ・現地参加者：首都圏の小・中・高の教員と旅行会社22名
- ・内 容：全参加者に対するプレゼンテーションと個別機関に対する説明・相談会

（2）「関東・東北教職員招へい」（観光振興機構事業）との連携

- ① 内容：「令和4年度北海道教育旅行説明会・相談会」に参加された中学・高校の教員7名が、往路（仙台発）にフェリーを利用した北海道の視察旅行を実施した際、船内において船員等の講話を実施

2. 東北エリア（岩手県、宮城県、福島県）の私立中学校に対する事業説明

（1）内 容：東北エリアの中学校に対する事業説明と令和5年度に予定するファムトリップへの参加協力依頼。

（2）訪問先：岩手中学校

盛岡中央高等学校附属中学校

聖ドミニコ学院中学校高等学校

宮城学院中学校

会津若松ザベリオ学園

3. 東北エリアの中学校誘致に対する協力依頼

（1）仙台市訪問（文化観光局、教育局）

VI まとめ

本事業は、令和3年度から引き続く2年目の取組で、今年度の取組は令和3年度に実施した北海道内から道外への「送客事業」に加え、東北・首都圏の教育旅行をターゲットにした「誘客事業」、北海道運輸局が所管する海事・物流事業に対する理解者をつくる「サポーターづくり事業」で取り組みを進めました。

送客事業では、「フェリーを利用する修学旅行体験会」を昨年度に引き続き実施し、昨年の同体験会で見い出された課題解消策の検証と共に、①フェリーを利用した教育旅行商品開発の促進、②フェリー利用の優位性と実用性のPR、③教育旅行商品開発のためのトライアル、④学習プログラムのクオリティの検証等を目的として実施しました。

今後は、アンケート結果を活用し、関係者と共に取組の効果検証を行うこととしています。

誘客事業では、東北、首都圏の教育旅行をターゲットに、北海道観光振興機構事業と連携して、教育関係者と旅行会社に対する事業説明等を行いました。

また、令和5年度からの本格的な誘客の取組を目指して、東北エリア（岩手県、宮城県、福島県）の私立中学校等を訪問し、修学旅行の行き先としての北海道訪問の意向と、フェリー利用のニーズ等に関してマーケティングを行いました。

教育旅行におけるフェリー利用の提案にあたっては、フェリー自体がもつ快適性や優雅さ、非日常の時間空間等の魅力に加え、フェリー利用の動機付けとなる付加価値が特に必要になると考えられます。

アンケートによる取組への評価は、「物流と経済の関わりが学べる」「海運（物流）を担う人材の育成にも繋がる」「海に関わる学習として大変秀逸」等の意見が教育関係者からありました。こうした意見から、海事・物流産業の施設見学や船長、水先人等の講話で構成するこの取組は、海洋基本法や中学校の学習指導要領によって学校教育に求められている、海洋教育と物流等を基に国内各地との結びつきの理解、に対する有効な学びの教材となり、フェリー利用への大きな付加価値となり得ると考えます。

また、こうした教育旅行等の機会を捉えて学校教育の中で、海事・物流産業に対する学びが行われることは、普段生徒たちの目に触れる機会が少ない、これら産業の役割や重要性を周知する理想的な取組になると考えられます。

施設見学等による学びに際しては、修学旅行の前に疑問点や課題等を設定する（旅マエ）、課題に対する整理・分析を施設見学先の情報収集等で行う（旅ナカ）、旅行後に取りまとめて発表する（旅アト）、等のプロセスを設定し、フェリー「ならでは」のプログラムを提案することが、他の交通機関では得られない特徴的で新鮮な提案となり、特に有効と考えられます。また、他の交通機関と差別化を図るため、自主研修に関連付けられるカリキュラムの構築を行うことも重要と考えます。

令和3年度から取り組む旅客フェリー活性化事業の成果として、令和5年4月に、十勝管内中学校1校でフェリーを利用した修学旅行が実施される際、当事業のプログラムの活用が予定されており、同年5月には、札幌市内中学校1校でも、当事業のプログラムを活用した宿泊研修の実施が予定されています。

また、盛岡市内中学校 1 校では、北海道を訪問する教育旅行(本年 7 月実施予定)において、往復路のいずれかでフェリーを利用し、当プログラムを活用した研修実施希望の申し出があり、旭川市内の小学校 1 校からは、当事業のプログラムを活用した宿泊研修実施の照会がありました。

これらのことは、学校教育に対して、教育基本法や学習指導要領において、海洋教育等が求められている点に着目し、ターゲットを国内の教育旅行（主として中学校）と明確にした上で、ニーズを把握するため教育現場に足を運び、教育関係者を惹きつける訴求ポイントを精査する等、戦略的かつ中長期の視点に立ち、将来ビジョンをイメージしながら当事業を進めてきた結果であると考えられ、当事業を推進することが、旅客フェリーの利用促進と海事・物流産業の人材確保・育成の課題解消策として、極めて有効な取組であると考えています。

室蘭運輸支局では、フェリー関係者と連携し、所管事業者等のご協力を得ながら、北海道運輸局の取組とも連動し、今後も教育旅行を取り扱う旅行会社等に対し取組の周知を行い、修学旅行の誘致を促進して参りますので、引き続き、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続する中、本事業にご協力いただいた教育関係者および旅行会社の皆さまと、ご多忙の中ご対応いただいた海事・物流企業および団体等の方々に改めて深く感謝申し上げます。



【問い合わせ先】

国土交通省北海道運輸局

室蘭運輸支局 次長 奥田

電話：0143-23-5001

E-mail：okuda-s524b@mlit.go.jp

(参考資料)

I. プレス資料

II. 大洗航路アンケート



III. 仙台航路アンケート



IV. 令和5年度以降の予定事業（案）

同時発表：北海道・運輸航空記者クラブ、室蘭市政記者会、
苫小牧市政記者クラブ

令和4年9月5日

修学旅行に“日本で唯一ここだけ”をご提供！

～ 「旅客フェリーの利用促進」と「海事・物流産業のサポーターづくり」の取組 ～

北海道運輸局室蘭運輸支局では、旅客フェリー事業の活性化と海事・物流産業の重要性等の理解醸成を図るため、北海道内の教育関係者と旅行会社を招請し、修学旅行における“日本で唯一ここだけ”のプログラムを組み込んだ、フェリーを利用する修学旅行体験会を実施します。

1. 背景

- ◆北海道内の中・長距離フェリーの旅客利用者数は、1994年をピークに減少し、苫小牧港に就航するフェリーの旅客利用者数は、2020年3月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少し、2022年7月時点においては、対2019年7月比で20%程度減少しています。
- ◆海洋基本法（2007年制定）においては、海洋に関する教育の推進が要請され、新学習指導要領（2017年改訂）においては、地域間の結びつきの学びとして物流の理解等が求められている点に着目し、海事・物流産業の学びを提供するフェリーを利用した修学旅行を提案。
- ◆海事・物流産業においては、少子高齢化等の影響や電子商取引の急速な普及等により、働き手の高齢化と人材不足に伴う労働力の確保が喫緊の課題となっている。

2. 経緯

- ◆昨年度、北海道内中学校の教員と旅行会社を招請して「修学旅行体験会」を実施し、フェリーを利用する修学旅行の実用性のPRとプログラム内容について検証を実施した。
- ◆これを契機として、旅行会社においてフェリーを利用する修学旅行の商品化が図られ、令和5年4月には、北海道内の中学校1校でフェリーを利用した修学旅行が実施される予定となっている。
- ◆また、北海道外の中学校に対しても、当プログラムを活用した修学旅行の商品化が図られている。

3. 目的

- ◆プログラムの学びの効果を関係者に訴求し、フェリーを利用した多様な教育旅行商品の開発を促進する。
- ◆フェリーをはじめとする海事・物流産業施設を利用し、キャリア教育やSDGsを意識したプログラムを構成して、フェリー利用の優位性と実用性をPR。
- ◆教育旅行の商品開発のためのトライアル。
- ◆教育関係者と旅行会社による学習プログラムのクオリティー等の検証。

4. スケジュール

◆Aコース（商船三井フェリー「フェリー さんふらわあ ふらの」利用）

実施日：令和4年9月9日（金）～9月11日（日）

参加者：7名（教育関係者5名、旅行会社2名）

行程：苫小牧～茨城県、福島県、宮城県

※詳細は「別紙」参照。



乗船予定：商船三井フェリー「さんふらわあ ふらの」

◆Bコース（太平洋フェリー「フェリーきたかみ」利用）

実施日：令和4年9月30日（金）～10月2日（日）

参加者：11名（教育関係者3名、旅行会社8名）

行程：苫小牧～宮城県

※詳細は「別紙」参照。



乗船予定：太平洋フェリー「きたかみ」

■主な学習プログラム

施設見学等：＊RORO船内、一般貨物船、物流倉庫内、内航コンテナ荷役、タグボート、
港湾荷役機械・トレーラートラックの体験乗車 など

講話：水先人
：船長 フェリー「さんふらわあ ふらの」
：船長 フェリー「きたかみ」
：船員・パーサー等（Aコースのみ）
：船の環境対策 など

仕事のお話：通関士業務 など

被災地訪問：東北大震災被災地を訪問し震災学習等

＊RORO船：船の前後のランブウェイからトラック
やトレーラー等によって直接貨物を積
み卸しするロールオン/ロールオフ方
式の貨物船

5. 事業主体等

主催：北海道運輸局室蘭運輸支局、商船三井フェリー(株)苫小牧支店、太平洋フェリー(株)北海道支店、
苫小牧港開発(株)

協力：苫小牧栗林運輸(株)、協同組合苫小牧タグセンター、苫小牧地区倉庫協会、苫小牧水先区水先人会、
ナラサキスタックス(株)、（一財）北海道港湾福利厚生協会、北海道内航海運組合、
室蘭地区トラック協会苫小牧支部（五十音順）

※取材を希望される場合は、前日の午前中までにご連絡をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策のためマスクの着用、手指消毒等の徹底をお願いします。

【お問い合わせ先】 北海道運輸局 室蘭運輸支局
電話：0143-23-5001 担当：奥田
北海道運輸局 室蘭運輸支局 苫小牧海事事務所
電話：0144-32-5901 担当：岡本

TOTAL SCHEDULE

別紙

2022年 9月 9日 (金)

「フェリーを利用する修学旅行体験会」

2022年 9月11日 (日)

大洗航路

3 DAYS SCHEDULE

国土交通省 北海道運輸局

1日目	2日目	3日目
9月9日 (金)	9月10日 (土)	9月11日 (日)
9:30 オリエンテーション (苫小牧西港ターミナル) 10:15 RORO船内見学 10:50 一般貨物船 (鋼材船) 見学 11:20 物流倉庫見学 12:15 昼食 & 移動 13:50 輸入コンテナ見学 14:25 特別授業 (講話) ・ 通関士のお話 14:55 荷役機械体験乗車 トレーラートラック体験乗車 16:30 特別授業 (講話) ・ 水先人のお話 ・ フェリー「さんふらわあ」 船長のお話 17:30 フェリー船内見学/荷役見学 18:45 夕食 (船内レストラン)  18:45 苫小牧港出港	7:30 朝食 (船内レストラン) 9:15 特別授業 (講話) ・ 船のしごとの話 10:25 意見交換会 11:10 記念撮影 11:30 昼食 (船内レストラン)  14:00 大洗港着 (大洗フェリーターミナル) 15:00 水戸市歴史・文化等の学び (徳川ミュージアム見学) (弘道館見学) 18:30 ホテル着 (いわきワシントンホテル) (夕食)	8:30 ホテル発 (いわきワシントンホテル) 9:00 環境水族館アクアマリンふくしま 10:30 いわき震災伝承みらい館 12:00 車中昼食 13:30 中浜小学校 (宮城県山元町震災遺構) 15:50 仙台空港着 16:55 仙台空港発 (JAL2907便)  18:05 新千歳空港着 (一部解散) 19:00 苫小牧西港フェリーターミナル (解散)

(※) 新型コロナウイルス感染症や気象状況により、「変更」「中止」となる場合があります。

TOTAL SCHEDULE

別紙

2022年 9月30日 (金)

2022年10月 2日 (日)

3 DAYS SCHEDULE

「フェリーを利用する修学旅行体験会」

仙台航路

国土交通省 北海道運輸局

1日目	2日目	3日目
9月30日 (金)	10月1日 (土)	10月2日 (日)
9:30 オリエンテーション (苫小牧西港ターミナル) 10:10 RORO船内見学 (自動車運搬船) 11:30 一般貨物船・営業倉庫見学 12:45 昼食 14:00 タグボート見学・乗組員講話 15:00 講話「船のSDGs」 16:00 特別授業 ・水先人のお話 ・フェリー「きたかみ」 船長のお話 16:45 フェリー荷役見学 18:30 夕食 (船内レストラン) 19:00 苫小牧港出港 	7:30 朝食  10:00 仙台港着 (仙台港フェリーターミナル) 10:30 荒浜小学校 (宮城県仙台市震災遺構) 12:30 昼食 13:30 みやぎ東日本大震災津波伝承館 (石巻南浜津波復興祈念公園) 15:00 女川町観光協会 「新たな町のスタート! ~女川の語り部~」 17:00 ホテル着 18:00 仙台市内 プロ野球 「東北楽天ゴールデンイーグルス」観戦 ※楽天生命パークでホームゲームが開催さ れる場合 (自由参加)	9:00 ホテル発 10:00 仙台うみの杜水族館 11:30 JRフルーツパーク仙台あらはま 13:00 昼食 14:00 歴史学習 ~伊達政宗の生涯~ (仙台城跡・青葉城資料展示館) (伊達政宗公霊屋「瑞鳳殿」) 16:55 仙台空港発  18:05 新千歳空港着 (一部解散) 19:00 苫小牧西港ターミナル (解散) (※) 各日行程の詳細は未定です。

(※) 新型コロナウイルス感染症や気象状況により、「変更」「中止」となる場合があります。

- 外国から運ばれた貨物等の見学と、国内の港から貨物を運ぶ船等を見学し、**海外や国内各地と北海道との結びつきの理解**を深めます。
- 参加者自身の日常生活と**海事・物流産業の関わり**を学びます。

■ 海外や国内各地と北海道の結びつきの学び
■ 生産と消費を結ぶ物流倉庫の役割の学び
■ 海事・物流企業等関係者の講話による学び



海外から輸入された貨物等を見学し、北海道と海外との結びつきを学びます。



貨物自動車を運転したまま船内に積み込み（積卸し）、国内の港から（へ）貨物を運ぶ**船の内部の見学**を実施。



自動車を運転したまま船内に積み込み（積卸し）、国内の港から（へ）貨物を運ぶ**船の内部の見学**を実施。



海上コンテナを積み上げ、積卸しする**荷役のデモ**を実施。



国内から運ばれた**海上コンテナの中身の見学**等を実施。



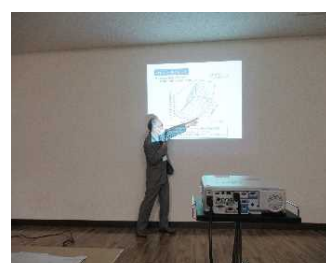
荷役機械、トレーラートラックの**体験乗車**を実施。



生産と消費を結び、商品の保管や配送する拠点として、物流の重要な役割を担う**物流倉庫の見学**。



旅客船と貨物船の二刀流の役割をもつ**フェリーの客室と荷役の見学**を行います。

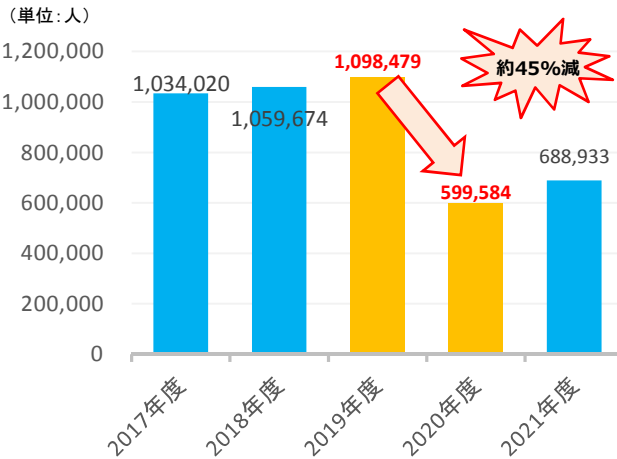


船長や船を動かす船員の仕事、船が動くために必要なサポートの仕事（水先人）、税関を通るための通関業務（通関士）などの講話を行います。

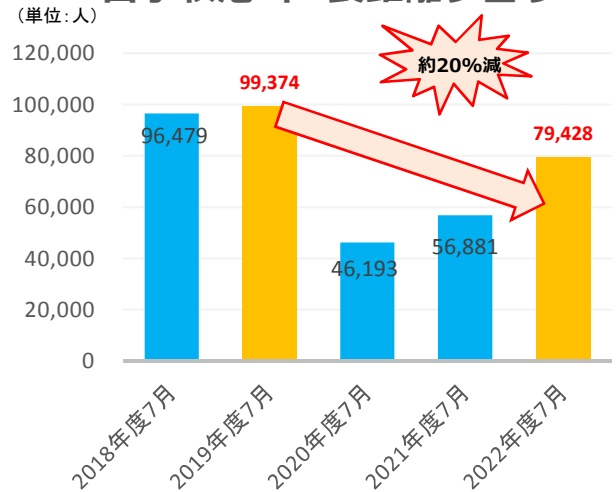
フェリー旅客輸送実績

出典：国土交通省北海道運輸局

北海道内 中・長距離フェリー

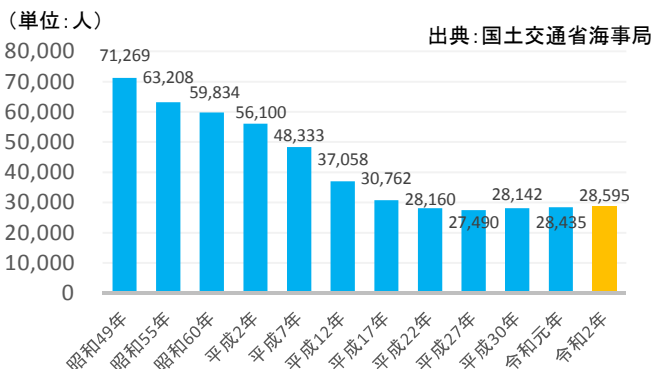


苫小牧港 中・長距離フェリー

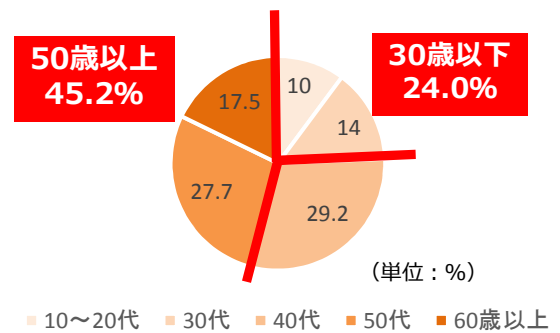


海事・物流産業の状況

内航船員数の推移

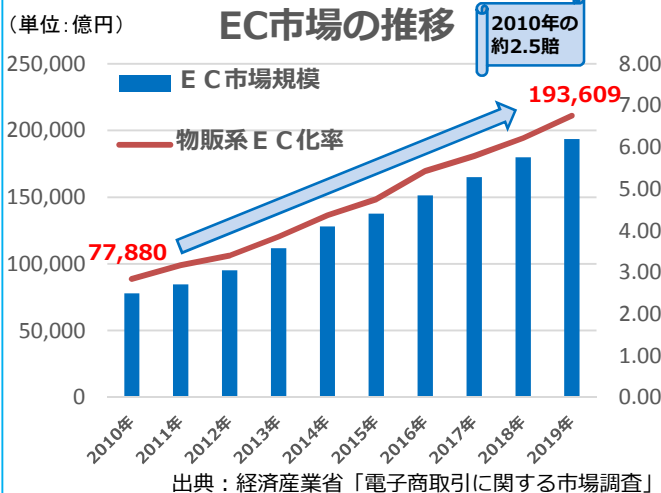


トラック運転手の年齢構成

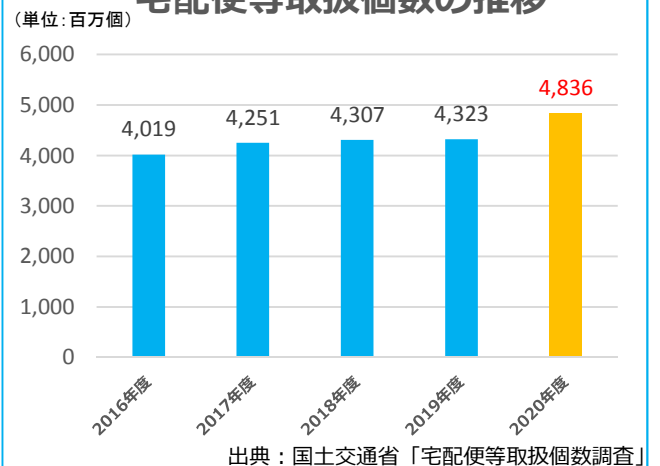


出典：総務省統計局「労働力調査年報」

EC市場の推移



宅配便等取扱個数の推移



【教育関係者まとめ（４名）】（大洗航路）

フェリーを利用した修学旅行体験会アンケート

1. 今回の体験会に期待したものについて教えてください。（記述）
2. 実際に体験してみて、その期待は満足されましたか。 期待した内容それぞれについて回答をお願いします。

①非常に満足 ②やや満足 ③やや物足りなかった ④物足りなかった

- 1.船内での過ごし方、体調不良時の対応
⇒②航行時間が長く疲労感があった。私自身、２日目の陸上でも揺れている感覚があった。船内は設備・食事など充実しており過ごしやすかった。
- 2.タイムスケジュールの妥当性
⇒②往路のフェリー利用は、所要時間と到着後のスケジュールを考えると難しいと感じた。関東方面から北上し仙台港から苫小牧港の利用であれば良いと思う。
- 3.被災地見学について
⇒①非常に有意義なものであった。防災教育は重要であり、被災地を自ら見学することで命の尊さや防災・減災の意識を高めることができると感じた。
- 4.苫小牧一大洗航路の体験
⇒②乗り心地は申し分なくよかった。船内見学もたいへん有意義であった。移動時間が長いので旅行の前半は疲労がたまるので行程は一考を要する。
- 5.震災学習について
⇒①語り部さんの丁寧な説明で、震災の悲惨さやそこから復興した状況がリアルに伝わってきた。修学旅行の目的になり得る価値の高い教育資源であるといえる。
- 6.今後の修学旅行の在り方について
⇒②どこに行くかよりも、何をするか何を考えさせるか何を見せるかという修学旅行の目的が大切であることが改めて実感できた。
- 7.RORO船見学
⇒①教科書やテレビを通じてしか見たことが無かったので、自分の肌で体感し、物流の規模の大きさや社会で担う役割を深く学ぶことが出来た。
- 8.物流倉庫の見学
⇒②コンテナの開封作業を見る機会など滅多にないので、とても興味深かった。今回は韓国発のコンテナを開封し、鉄線の取り出しを見学したが、世界各国の産業構造を情報として落とし込めば、より学びが深まると感じた。
- 9.苫小牧での体験
⇒①ぜひ修学旅行で活用したいと思いました。
- 10.東北地方での体験
⇒①特に被災地の内容が良かった
- 11.キャリア教育の内容
⇒①もしフェリー乗船中にやっていただけるのが可能ならばぜひ活用したい。

3. 今年と昨年の修学旅行で利用した交通機関と訪問先を教えてください。（複数選択）
また、利用した理由に加え、フェリーを選択しなかった理由、障害等あれば教えてください。

【交通機関】①JR ②飛行機 ③バス ④フェリー ⑤その他

2021年度	
苦 教 委	【交通機関】①JR、③バス 【訪問先】小学校：函館 中学校：東北 【理由】
苦 教 委	【交通機関】①JR、③バス 【訪問先】東北地方 【理由】文化的な見学施設が数多く所在しており、修学旅行先として最適であるため。
帯 大 空	【交通機関】③バス 【訪問先】函館・ルスツ・小樽 【理由】コロナのため縮小した

2022年度	
苦 教 委	【交通機関】①JR、③バス 【訪問先】小学校：函館 中学校：東北 【理由】
苦 教 委	【交通機関】①JR、③バス 【訪問先】東北地方 【理由】文化的な見学施設が数多く所在しており、修学旅行先として最適であるため。
帯 大 空	【交通機関】①JR、③バス 【訪問先】函館・ニセコ・札幌 【理由】十勝地方にはない風土の学習、札幌では専門学校でのキャリア教育のため

4. 以下の各プログラムについて、修学旅行への組み込みの可能性を「①あり・②なし」のどちらかを選択しその理由を教えてください。また、「新しい学習指導要領」では、物流などを基に、国内各地や日本と世界との結びつきの特色を理解することが求められていますが、これらの学習に活用できる内容であったかについても教えてください。（記述）

【RORO船見学】

① あり 2	1.当市が日本有数の物流拠点であることを認識し、この強みを理解することは地元愛の醸成に繋がると感じた。また、迫力あるシャーシの積込作業を自分の目で見学することで、仕事に対する魅力を感じた子供たちが将来の日本の運送業界を支える人材になり得ると感じた。 2.大人でも知らなことがばかりで、大変教育効果は高いと考えるから
② なし 2	1.地元の物流に関する教育は、修学旅行ではなく見学学習に組み込むのが現実的である。 2.修学旅行以外の見学学習等で学習することが可能であるため、あえて修学旅行時に旅程に組み込む必要はないと考える

【一般貨物船（鋼材船）見学】

① あり 2	1.台風の影響で実際の鋼材船を見学することはできなかったが、運ばれてきた鋼材を見て、社会インフラの形成に海運がどのような役割を果たしているのかを学ぶ機会となった。また、鋼材のような重厚長大なものを効率的に運送する船をSDGsと結び付ければ、学習の幅も広がると感じた。 2.大人でも知らなことから、大変教育効果は高いと考えるから
② なし 2	1.地元の物流に関する教育は、修学旅行ではなく見学学習に組み込むのが現実的である。 2.修学旅行以外の見学学習等で学習することが可能であるため、あえて修学旅行時に旅程に組み込む必要はないと考える

【物流倉庫見学（晴海物流倉庫・苫小牧東港共同倉庫）】

① あり 2	1.日常生活で何気なく手にしている商品の1つ1つが世界各地から輸入され、様々な人の手を経て自分の元に届く事を知ること、物に対する有難みや各国の産業構造を学びたいという好奇心を育てることができると感じた。 2.大人でも知らなことから、大変教育効果は高いと考えるから
② なし 2	1.地元の物流に関する教育は、修学旅行ではなく見学学習に組み込むのが現実的である。 2.修学旅行以外の見学学習等で学習することが可能であるため、あえて修学旅行時に旅程に組み込む必要はないと考える

【通関士講話（海のしごとの話）】

① あり 3	1.物流においては1つの通過点でしかない通関士の仕事だが、日本で流通する商品の安全性を担保し、正確な徴税（納税）を守る番人であることを知ることが出来た。職業に応じた役割や責任はどの仕事にもあるが、暮らしとのつながりを考える良い教材と考える。 2.キャリア教育（職業体験学習）に一環として、教育的価値があると考え。 3.キャリア教育の一貫として、大変教育効果は高いと考えるから。海の仕事に関する知識はなかなか学校にはないので、生徒にも教員にも勉強になると考える。
② なし 1	・地元の物流に関する教育は、修学旅行ではなく見学学習に組み込むのが現実的である。

【内航コンテナ荷役デモ・体験乗車】

① あり 2	1.物流倉庫見学に記載した理由に同じ。RORO船、物流倉庫、荷役デモ見学は物流の一連の流れを理解（体感）する上で、パッケージにした方が分かり易いと感じた。 2.実際に生徒全員が乗車できると考えたら素晴らしい体験になると考えられる。
② なし 2	1.地元の物流に関する教育は、修学旅行ではなく見学学習に組み込むのが現実的である。 2.修学旅行以外の見学学習等で学習することが可能であるため、あえて修学旅行時に旅程に組み込む必要はないと考える

【水先人講話】

① あり 3	1.世間的には認知度の低い職業であるが、物流を支える要職であることを学ぶ機会になると思う。水先人になるためには水産高校への進学など専門的な勉強が必要となるが、大半の生徒が普通科高校に進学することを踏まえ、将来の人材確保のためにも広く職業を認知させる機会を作らなければならないと思う。 2.キャリア教育の一貫として、大変教育効果は高いと考えるから。海の仕事に関する知識はなかなか学校にはないので、生徒にも教員にも勉強になると考える。 3.キャリア教育（職業体験学習）に一環として、教育的価値があると考えている。
② なし 1	・修学旅行ではなく見学学習に組み込むのが現実的である。

【船長講話】

① あり 2	1.キャリア教育（職業体験学習）に一環として、教育的価値があると考えている。 2.キャリア教育の一貫として、大変教育効果は高いと考えるから。海の仕事に関する知識はなかなか学校にはないので、生徒にも教員にも勉強になると考える。
② なし 2	1.修学旅行ではなく見学学習に組み込むのが現実的である。 2.今回の講話では船の構造に関する話（＝使用燃料削減に向けた船体構造の見直し）があったが、講話としての狙いが、船長という職業の紹介なのか脱炭素社会に向けた企業としてのSDGsに対する取り組みの紹介なのか、イメージが伝わらなかった。

【フェリー荷役見学】

① あり 2	1.フェリーを利用した際は、見学させることは有効であると思う。 2.キャリア教育の一貫として、大変教育効果は高いと考えるから。海の仕事に関する知識はなかなか学校にはないので、生徒にも教員にも勉強になると考える。
② なし 1	・修学旅行以外の見学学習等で学習することが可能であるため、あえて修学旅行時に旅程に組み込む必要はないと考える

【特別授業（船内講話）】（2日目）

① あり 3	1.キャリア教育としての活用は考えられる。フェリーを利用した際は、キャリア教育として取り入れることは考えられる。 2.キャリア教育（職業体験学習）に一環として、教育的価値があると考ええる。 3.キャリア教育の一貫として、大変教育効果は高いと考えるから。海の仕事に関する知識はなかなか学校にはないので、生徒にも教員にも勉強になると考える。
--------------	--

5. 1日目の体験を通して、海事・物流産業に対する理解が深められる内容でしたか。

また、特にどのプログラムを体験して感じたかも教えてください。（記述）

1.ふるさと教育として、地元の物流業や港湾について学習することは可能ではないかと思う。 2.RORO船の見学が非常に良かった。大人である私自身、RORO船の役割は理解しているつもりであったが、実際に肌で体感する迫力は教科書や画面で見る以上のものであった。日本では欲しいものがすぐに手に入るが、商品の生産から手元に届くまでの過程を理解することで、物流と経済の関わりを学べるほか、これを支える方々へ感謝する心も育てられると感じた。 3.このように物流が行われているのは知らなくて、本当に勉強になった。船内、倉庫での体験に感動しました。

6. 以下の各プログラムについて、「①あてはまる・②あてはまらない」のどちらかを選択し、その理由を教えてください。（記述）

【RORO船見学】

・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 3	1.栗林運輸様の説明が端的で分かりやすかった。 2.実物を目の前にして説明を受けるので、頭の中での情報の整理がしやすかった。 3.実際に現場を見て体験できるというのが一番だと思います。
--------------	--

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 2	・世の中にどんな職業があるのかを知る良い機会になると思います。
--------------	---------------------------------

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 2	1. 1 日限りの職業見学としても最適だと思う。狭い船内を巧みに運転するトレーラー運転手や、迅速かつ確実にシャシーを固定する作業員の姿は大人がみても格好よく、職業への憧れや興味を生み出せると思う。 2. 中学校の社会科に物流に関する時間があるので、本当に良い勉強になると思います。
--------------	---

【一般貨物船（鋼材船）見学】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 1	・実際に現場を見て体験できるというのが一番だと思います。
② あてはまらない 1	・台風の影響で実物を見られなかったので、②とした。

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 1	・世の中にどんな職業があるのかを知る良い機会になると思います。
②あてはまらない 1	・上記の通り

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 1	・中学校の社会科に物流に関する時間があるので、本当に良い勉強になると思います。
②あてはまらない 1	・上記の通り

【物流倉庫見学（晴海物流倉庫・苫小牧東港共同倉庫）】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 2	1. 港湾とそこに停泊している貨物船、荷下ろしされたコンテナとそれを運ぶトレーラーが目の前を行きかっており、物の流れがイメージし易かった。 2. 実際に現場を見て体験できるというのが一番だと思います。
--------------	---

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 2	1. 季節に応じて輸出入される商品が自分の生活に身近であるほど、興味や好奇心がそそられた。国別にどのような商品が輸入されているのかを生徒に予想させるのも学習に有効と感じた。 2. 世の中にどんな職業があるのかを知る良い機会になると思います。
--------------	---

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 2	・中学校の社会科に物流に関する時間があるので、本当に良い勉強になると思います。
--------------	---

【通関士講話（海のしごとの話）】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 1	・こんな仕事もあるのだと感心しました。関税に関しては授業でも扱う内容なのでタメになると思います。
② あてはまらない 1	・大人である自分には分かり易かったが、税金や保税地域といった言葉は中学生には少し難しいのではないかと感じた。

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 1	・世の中にどんな職業があるのかを知る良い機会になると思います。
②あてはまらない 1	・上記の通り

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 2	1.物流を理解するうえでは組み入れたほうが充実した内容になると思う。 2.中学校の社会科に物流や関税、貿易に関する時間があるので、本当に良い勉強になると思います。
--------------	--

【内航コンテナ荷役デモ・体験乗車】

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 2	1.コンテナを間近で見る機会は日常的にないが、実際に自分の背丈とコンテナの大きさを比べてみて、膨大な量の商品が船舶で運ばれていることを体感できる機会であった。 2.実際に現場を見て体験できるというのが一番だと思います。
--------------	--

【水先人講話】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 1	・こんな仕事もあるのだと感心しました。
② あてはまらない 1	・生徒にとっては初めて知る職業だと思うが、その職業の重要性ややりがいを知るためにも水先人の案内を受ける船長の意見を聞いてみたいと感じた。

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 1	・世の中にどんな職業があるのかを知る良い機会になると思います。キャリア教育としては最高の素材だと思います。
②あてはまらない 1	・上記の通り

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる	・中学校の社会科に物流や関税、貿易に関する時間があるので、本当に良い勉強になると思います。
②あてはまらない 1	・上記の通り

【船長講話】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 2	1.内容としては分かり易い内容であったと感じる。 2.こんな仕事もあるのだと感心しました。どんな仕事をしているのかわかりやすかったです。
--------------	---

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 1	・世の中にどんな職業があるのかを知る良い機会になると思います。キャリア教育としては最高の素材だと思います。
② あてはまらない 1	・船長という職業の内容についてもう少し触れて欲しかった。（1度の航行でどのくらいの人、物を輸送しているのか、また、どのようなスケジュールで仕事をこなしているのか等）

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 1	・中学校の社会科に物流や関税、貿易に関する時間があるので、本当に良い勉強になると思います。
② あてはまらない 1	・上記内容を組み入れていただければ、もっと職業に対しての興味を引き出せると思う。

【フェリー荷役見学】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 2	1.実際に見学をすることで理解しやすいと思う。 2.実際に現場を見て体験できるというのが一番だと思います。
--------------	--

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 2	1.中学生に対しては、もう少し具体的な説明を明確に行った方が良いと思う。 2.世の中にどんな職業があるのかを知る良い機会になると思います。
--------------	--

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 2	1.小学生への見学学習に活用できると思う。 2.中学校の社会科に物流に関する時間があるので、本当に良い勉強になると思います。
--------------	---

【特別授業（船内講話）】（2日目）

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 3	1.自分が何故この職業を選択したのか、人生はちょっとしたきっかけで変わってくることなど、分かりやすい内容であったと思う。 2.実体験に基づいた話はたいへん共感が持てる。 3.こんな仕事もあるのだと感心しました。どんな仕事をしているのかわかりやすかったです。
--------------	--

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 3	1.進学に向けた動機、仕事に対する思いなど考えさせられる内容だと思う。 2.キャリア教育の視点からたいへん教育的価値は高い。 3.世の中にどんな職業があるのかを知る良い機会になると思います。キャリア教育としては最高の素材だと思います。
--------------	---

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 3	1.キャリア教育として、学校での出前授業で活用できればと思う。 2.社会科見学というよりは、総合的な学習の時間で活用すべきと考える。 3.中学校の社会科に物流や関税、貿易に関する時間があるので、本当に良い勉強になると思います。
--------------	---

7. 震災学習（3日目）によって、「いのち」の尊さ、人への思いやり、支え合うことの大切さを学べる内容だったかについて教えてください。（①はい、②いいえ）（記述）

① はい 3	1.被災地を見学することで、防災意識の醸成に繋がると感じた。また、現地の語り部の話しは想像以上に心に残り、命の尊さと地域の力などの大切さを学べるものであった。 2.命の尊さ、自助・共助・公助など様々なことを考えさせられた。 3.今まで何か所か被災地に行き、お話をうかがったことがあるのですが、基本的には多くの命が失われた場所・話でしたが、今回は「生きる」ことがテーマだったと思います。こういう形の方が伝わる人が多いのでは？
--------------	---

8. 修学旅行として実施するにあたり、改善すべき点を教えてください。（記述）

1.往路でフェリーを利用すると、疲労感や船酔いによる体調不良が懸念され、体調不良者はその後の活動に大きな影響がある。フェリーを利用するのであれば復路が現実的だと思う。 2.船内での過ごし方に工夫が必要であると感じ、船舶関係者による講話や普段見ることができない船内の見学、自主研修の工夫があると良いと思う。 3.教育的な目的から、水戸市の見学やアクアマリンは一考を要する。 4.生徒の疲労度を考え、往路は飛行機、復路がフェリーがよい。 5. 本当に素晴らしい内容でしたので、そんなに改善点はないのですが、あえていえば、乗車体験を行うとしたらどれだけの生徒が可能になるのか、全員はやはり厳しいと思うので、そこが難しい点かと思いました。毎回毎回修学旅行のために業務を打ち切るという訳にもいかないと思うので…
--

9. 修学旅行にフェリーを利用する場合に、ハードルと考えられることがあれば教えて下さい。また、その解消策へのアドバイスがあれば教えて下さい。（記述）

- 1.現在、中学校の修学旅行は2泊3日が主流である。授業時数の関係上、行事の精選が必要となる。船中泊で1日増やすには、生徒や保護者、学校関係者が満足したと思える内容を企画する必要がある。
- 2.移動時間が長い ⇒ 船内でしかできない職業体験・ウォークラリー型船内見学等を検討
- 3.列車、自動車と比較して、利用経験のない生徒が多く想定されることから、船酔いや長時間の乗船により生じる体調不良への懸念がある。
- 4.1泊増えることにより、引率教員の身体的な負担が増加するほか、船内での事故やトラブルの発生が懸念される。また、泊数の増加は引率教員の学校不在期間を長くすることになるので、学校に残る教員や生徒にも不都合が生じ得る（養護教員の不在など）。
- 5.緊急性のある病気や特性がある生徒が乗船した場合の対応が難しいと思います。どの乗り物でも同じことが言えるのかもしれませんが、なぜそんな生徒がいるのにフェリーにしたのかとなった場合になかなか難しいかと思います。ドクターヘリ？となるのでしょうか？

10. 今回の体験会に参加してみて、全体を通しての感想を教えてください。（記述）

- 1.このような機会を提供いただきありがとうございました。自分自身、フェリーを利用する機会が少なく良い経験をさせていただきました。特に、被災地見学はマスコミ報道等の映像でしか見たことがなく、実際に目の当たりにすることで改めて防災意識を高めていかなければならないと痛感しました。この被災地での体験は、是非子どもたちにも体験していただきたい本当に貴重なものだと感じました。
- 2.関係者の熱意と誠意を感じました。児童生徒のために、今後もより良い修学旅行について考えていきたいと思っています。
- 3.私はフェリー発着地である苫小牧からの参加でしたが、住んでいても知らない海運の舞台裏を学ぶ良い機会となりました。苫小牧市が日本各地、世界との物流拠点であることを肌で感じ、地元愛の醸成や海に対する興味・関心を引き出すことが出来れば、フェリー利用の増進はもとより海運（物流）を担う人材の育成にもつながると思います。また、現場を知る教員が増えることで生徒の学びの質も向上すると思うので、修学旅行に限らず、教員向けの見学会を開催することも効果的と感じました
- 4.修学旅行の素材としては本当に素晴らしいと思いました。フェリーを使った修学旅行にと前向きに学校でも検討しています。本当に貴重な体験ありがとうございました。

【教育関係者（小学校のみ 2名）まとめ】（大洗航路）

フェリーを利用した修学旅行体験会アンケート

1. 今回の体験会に期待したものについて教えてください。（記述）
2. 実際に体験してみて、その期待は満足されましたか。 期待した内容それぞれについて回答をお願いします。

①非常に満足 ②やや満足 ③やや物足りなかった ④物足りなかった

1.フェリーの設備	⇒②過去に利用したときと比べ、客室が充実しておりプライベートにも配慮されているので修学旅行でも利用しやすい。
2.震災遺構の様子	⇒①防災教育の観点から震災についての学習を進める上で、震災遺構や施設、語り部の話など積極的に利用したい。
3.フェリー内での学習プログラム	⇒②アテンダントクルーと3等航海士という職種のお話を聞けて、とても参考になった。欲を言えば、機関士など他の役割の方のお話も聞きたかった。また、詰め込みすぎはよくないが、船内プログラムがもう少しあってもよいように感じた。
4.旅行先での見学内容	⇒①見学させていただいた施設は、どれも見ごたえのあるものだった。特に、震災に関する施設（中浜小学校）は、実際に見ることによっていろいろな思いを抱く生徒がいると思われる、ぜひ見学させたいと思った。
5.船内設備等	⇒①船内設備が充実しており、快適に過ごすことができた。食事もバイキング形式でとてもおいしくいただけた。ただ、引率人数が多数の場合の食事については、スムーズに進むか心配。

3. 今年と昨年の修学旅行で利用した交通機関と訪問先を教えてください。（複数選択）
また、利用した理由に加え、フェリーを選択しなかった理由、障害等あれば教えてください。

【交通機関】 ①JR ②飛行機 ③バス ④フェリー ⑤その他

2021年度	
豊	【交通機関】 ③バス 【訪問先】 函館 【理由】 小学校なので1泊2日の行程だから。
勇	【交通機関】 ③バス 【訪問先】 函館市 【理由】 小学校なので一泊二日の日程のため。フェリーの運航がないため。到着後の移動の利便性。

2022年度	
豊	【交通機関】 ③バス 【訪問先】 函館 【理由】 小学校なので1泊2日の行程だから。
勇	【交通機関】 ③バス 【訪問先】 函館市 【理由】 小学校なので一泊二日の日程のため。フェリーの運航がないため。 到着後の移動の利便性。

4. 以下の各プログラムについて、修学旅行への組込みの可能性を「①あり・②なし」のどちらかを選択しその理由を教えてください。また、「新しい学習指導要領」では、物流などを基に、国内各地や日本と世界との結びつきの特色を理解することが求められていますが、これらの学習に活用できる内容であったかについても教えてください。 (記述)

【RORO船見学】

①あり 1	・修学旅行ではなく、学年の見学学習で見学させたい。
----------	---------------------------

【一般貨物船（鋼材船）見学】

①あり 1	・修学旅行ではなく、学年の見学学習で見学させたい。
----------	---------------------------

【物流倉庫見学（晴海物流倉庫・苫小牧東港共同倉庫）】

①あり 1	・修学旅行ではなく、学年の見学学習で見学させたい。
----------	---------------------------

【通関士講話（海のしごとの話）】

①あり 1	・修学旅行ではなく、学校に来ていただけるのであれば出前授業をお願いしたい。
----------	---------------------------------------

【内航コンテナ荷役デモ・体験乗車】

①あり 1	・修学旅行ではなく、学年の見学学習で見学させたい。
----------	---------------------------

【水先人講話】

①あり 1	・修学旅行ではなく、学校に来ていただけるのであれば出前授業をお願いしたい。
----------	---------------------------------------

【船長講話】

①あり 1	・修学旅行ではなく、学校に来ていただけるのであれば出前授業をお願いしたい。
----------	---------------------------------------

【フェリー荷役見学】

①あり 1	・ 修学旅行ではなく、学年の見学学習で見学させたい。
②なし 1	・ 車両甲板は、車でフェリーを利用しない限り入れない場所なので、興味をもつ生徒もいると思われる。コンテナが並んだ様子は、物流を感じさせるものだった。ただ、積み込まれた後を見学しても写真や映像で見るのとそう変わらないことや、前段のプログラム（内航コンテナ荷役デモ）で見ているのであれば必要性は感じない。行うのであれば、積み込む前の何もない状態で船の広さを感じさせたり、安全面等で難しいかもしれないが実際の積み込み作業を見学させたりすると学びの充実につながると思う。

【特別授業（船内講話）】（2日目）

①あり 2	1. 修学旅行ではなく、学校に来ていただけるのであれば出前授業をお願いしたい。 2. 普段あまり知ることのない職種について学ぶことができ、また具体的な勤務内容や収入、休日や余暇の過ごし方など働いている方の生の声を聞くことができるので、キャリア教育としてふさわしいものだった。
----------	---

5. 1日目の体験を通して、海事・物流産業に対する理解が深められる内容でしたか。

また、特にどのプログラムを体験して感じたかも教えてください。（記述）

1. 日中の見学をしておりますので答えにはならないかも知れませんが、小学校では、苫小牧や身近な産業について学習する単元があります。学年ごとに1日かけて見学学習をしておりますのでそこで港湾関係について学習をしたり、キャリア教育として来校していただき職について講話をいただけると嬉しいです。 2. 乗船時からの参加になったが、出航の様子を操舵室から見ることは貴重な体験だった。甲板員の方の動きも、乗客として利用しているときには気付かなかったことがたくさんあり、勉強になった。修学旅行では、興味関心に沿って小グループに分かれて出航時の作業の様子を様々な業務の視点で見学させ、離岸の感動を味わわせたいと感じた。

6. 以下の各プログラムについて、「①あてはまる・②あてはまらない」のどちらかを選択し、その理由を教えてください。(記述)

※RORO船見学～船長講話まで、両名とも不参加のため回答無し

【RORO船見学】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。
- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。
- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

【一般貨物船（鋼材船）見学】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。
- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。
- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

【物流倉庫見学（晴海物流倉庫・苫小牧東港共同倉庫）】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。
- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。
- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

【通関士講話（海のしごとの話）】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。
- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。
- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

【内航コンテナ荷役デモ・体験乗車】

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

【水先人講話】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。
- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。
- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

【船長講話】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。
- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。
- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

【フェリー荷役見学】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 1	・車両甲板は、船の大きさを感じ、物流を実感できる場所だった。
--------------	--------------------------------

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

② あてはまらない 1	・大事な学習ではあったが、積み込んだ後の車両甲板を見るだけだったので、映像資料に変えてもあまり変わらない印象だった。 ※前段のプログラム（内航コンテナ荷役デモ・体験乗車）と内容的に重なっていれば必要ないかも。
----------------	---

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 1	・フェリーの主たる役割の場面なので、社会科見学では必ず見せておきたい。
--------------	-------------------------------------

【特別授業（船内講話）】（2日目）

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 2	1.話し方も明瞭で内容も分かりやすく説明されていました。 2.話し方が上手で、内容が伝わりやすかった。また、若い方だったので生徒も身近に感じるのではないかと思った。スクリーンの資料の説明があまりなかったので、体験談と資料の説明とのバランスがとれるとなお良かった。
--------------	--

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 2	1.志望動機や進学について、仕事の内容や思いと、働くことについて考える事ができる内容でした。 2.普段あまり知ることのない職種について、働いている方の生の声を聞くことができ、自身の経験を基に就職のきっかけや働き方などにも触れていたため、この職業にあこがれをもつ生徒もいるのではないかと感じた。フェリーの構造や役割の説明を主とするのか、人材育成を狙ったキャリア教育を主とするのかなど、ねらいによって内容や進め方も変わってくると思われる。
--------------	--

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 2	1.高学年であれば小学生にもキャリア教育の一環として活用できる内容でした。 2.社会科見学でも十分に活用できる内容だったが、今回のように実際に乗船して働く様子を見た後に聞く方が、よりイメージが湧き、教育効果は高いと感じる。
--------------	--

7. 震災学習（3日目）によって、「いのち」の尊さ、人への思いやり、支え合うことの大切さを学べる内容だったかについて教えてください。（①はい、②いいえ）（記述）

① はい 2	1.震災遺構もありますが、特に語り部の話は、心に残り「いのち」について考え防災への心構え（人との繋がり）について考えるきっかけとなる内容でした。 2.施設を見学することでイメージしやすく、自分事として捉えられた。また、実際に震災を経験された語り部さん方のお話が、とても説得力があり心に響く内容だった。
-------------------	--

8. 修学旅行として実施するにあたり、改善すべき点を教えてください。（記述）

1.修学旅行でフェリーを活用する場合、苫小牧の学校では、帰路の利用を考えるのが現実的だと思います。フェリー内でのプログラムが充実していると（船員の講話、船内の見学等）選択の可能性は広がるかも知れません。それに加えアトラクション的な内容（今回のワンピースのような）があってもよいかも知れません。 2.体験活動（ロープワーク、手旗信号、救命胴衣の着用体験等）を取り入れるなど、船内のプログラムの充実があればよいと思う。修学旅行のねらいにもよるが、職業体験の場として設定する方法も考えられる。また、震災学習は、「心を育てる」、「防災意識を高める」など特に教育効果が高く、実際に現地に行かないと感じられないこともあるので、ぜひ取り入れていただきたい。

9. 修学旅行にフェリーを利用する場合に、ハードルと考えられることがあれば教えてください。また、その解消策へのアドバイスがあれば教えてください。（記述）

1.中学校では、授業時数（授業をするの日数）の確保をしなければならず行事等の精選を行っていて2泊3日が主流です。今後、東北地方へ旅行先が回帰すれば3泊4日を選択する学校が出てくるかも知れません。その場合、震災についての学習や半日程度の自主研修ができる場所についてのプレゼンを旅行会社とタイアップしていく必要があるかも知れません。 2.時間という点だけで見れば、苫小牧から大洗までの19時間はかなり長いと感じる。また、小さいとはいえ常に揺れている状態で長時間の乗船になるため、体調が悪い生徒が出た場合に逃げ場がないなど、生徒の体調面が心配。修学旅行のほぼ1日を船内で過ごすことになるので、移動手段としてではなく一つの見学先・学習先としてねらいをはっきりさせることが大事だと思う。例えば、上記のとおり船内プログラムを充実させたり、往路ではなく復路で利用したり、仙台便などできるだけ短い航路を利用したりする等の工夫が必要だと考える。

10. 今回の体験会に参加してみて、全体を通しての感想を教えてください。（記述）

- 1.今回、このような機会をいただけたことに感謝いたします。東北大震災について自分の目で見たことが大きな収穫です。改めて、防災教育の充実を図らなければならないと感じました。プライベートでも東北地方に来たくなりました。
- 2.この度は体験会に参加させていただき、ありがとうございました。普段からフェリーを利用していましたが、一般乗客の立場ではできない貴重な体験ができ、とても勉強になりました。また、教育者という視点から見ると、港湾関係のお仕事やフェリーは子どもたちにとって魅力ある教材であることを改めて感じました。小学校勤務のため修学旅行での利用は難しいですが、社会科見学などで活用させていただき、海事・物流産業へ興味関心をもつ子が少しでも増えればと思っております。大変お世話になりました。

【旅行関係者まとめ（2名）】（大洗航路）

フェリーを利用した修学旅行体験会アンケート

1. 今回の体験会に期待したものについて教えてください。（記述）
2. 実際に体験してみて、その期待は満足されましたか。期待した内容それぞれについて回答をお願いします。
 ①非常に満足 ②やや満足 ③やや物足りなかった ④物足りなかった

1. 学校の旅行的行事で提案できる新素材の発掘
 ⇒③港のコンテンツについては「対生徒向け」への説明など詰めていく必要があると感じました。学校に提案するにあたり現場を見ることができ良かったです。
2. フェリー体験
 ⇒②はじめて乗船したためフェリーの過ごし方・良さ・今後の課題を体験できイメージができました。
3. 修学旅行の新しい提案素材
 ⇒②素材として良いと思うものはあったが、実施をする上では改善の余地があった。

3. 以下の各プログラムについて、修学旅行への組み込みの可能性を「①あり・②なし」のどちらかを選択しその理由を教えてください。（記述）

【RORO船見学】

① あり 2	1. 札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、組み合わせ次第で可能だと思います。 2. 実施の際は、声が聞こえにくいのでマイクを利用したり、ガイドが資料を持って物流の流れ等を中学生向けに分かりやすく説明してほしい。
--------------	---

【一般貨物船（鋼材船）見学】

①あり 1	・実施の際は、声が聞こえにくいのでマイクを利用したり、ガイドが資料を持って物流の流れ等を中学生向けに分かりやすく説明してほしい。
----------	--

【物流倉庫見学（晴海物流倉庫・苫小牧東港共同倉庫）】

① あり 2	1. 札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、組み合わせ次第で可能だと思います。 2. 機械のデモンストレーションがあり、中学生には受けがよいと思います。実施の際の説明については、上記同様の対応を希望します。
--------------	--

【通関士講話（海のしごとの話）】

① あり 1	・特殊な職業で、憧れが持てると思います。但し、講話内容についてはもう少し学習要素や動画等を入れて実施をしてほしいです。
② なし 1	・札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、組み合わせ次第で可能だと思います。

【内航コンテナ荷役デモ・体験乗車】

① あり 2	1.札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、組み合わせ次第で可能だと思います。 2.こちらにも実際に乗車できるのは、貴重な体験だと思います。但し、乗る人数が限られるのと乗らない時の待ち時間の使い方は、検討が必要だと思います。また、トラックに乗った際のタバコのおい・車内の汚れは気になる人はいると思います。
--------------	---

【水先人講話】

① あり 2	1.札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、大人数で対応できれば可能だと思います。 2.特殊な職業で、憧れが持てると思います。但し、講話内容についてはスライドも含めてもう少し学習要素や動画等を入れて実施をしてほしいです。
--------------	---

【船長講話】

① あり 1	・札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、大人数で対応できれば可能だと思います。
--------------	--

【フェリー荷役見学】

② なし 2	1.説明してくれる方・安全を確保する方がいれば可能になると思います。 車の駐車数が多いときに、大型校の見学をどのように回すのか課題だと感じます。（他、車を傷つけないかなど） 2.フェリー内は、ゲーム(ワンピースのやつ)などの楽しめるものが良いと思います。
--------------	--

【特別授業（船内講話）】（2日目）

① あり 2	1.大型校の時に何名迄1度に対応できるのか、回し方をクリアすれば可能かだと思います。 2.親しみやすく、わかりやすかった。職業についての学習要素が多く参考になる。
--------------	---

4. 以下の各プログラムについて、「①あてはまる・②あてはまらない」のどちらかを選択し、その理由を教えてください。(記述)

【RORO船見学】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

① あてはまる 2	1.現場を見るだけでなく実際に説明も聞けるため魅力的であると感じます。 2.生徒向けにも伝わる説明へとブラッシュアップできると良いと思います。
--------------	--

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

② あてはまらない 2	1.作業音が大きく、説明がほとんど聞こえなかったのが残念でした。 2.マイクをつけるなど対策が必要だと感じます。 3.説明が聞こえにくかった。口頭だけだとよくわからなかった。
----------------	---

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

① あてはまる 2	・札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、組み合わせ次第で可能だと思います。
--------------	---

【一般貨物船（鋼材船）見学】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

①あてはまる 1	※意見なし（以下空欄）
----------	-------------

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

②あてはまらない 1	・説明が聞こえにくかった。口頭だけだとよくわからなかった。
------------	-------------------------------

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

①あてはまる 1	
----------	--

【物流倉庫見学（晴海物流倉庫・苫小牧東港共同倉庫）】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

①あてはまる 2	・現場を見るだけでなく実際に説明も聞けるため魅力的であると感じます。
----------	------------------------------------

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

①あてはまる 1	
②あてはまらない 1	・専門的で少し難しい内容であるため、生徒向けにも伝わる説明へとブラッシュアップできると良いと思います。

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

①あてはまる 2	・札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、組み合わせ次第で可能だと思います。
----------	---

【通関士講話（海のしごとの話）】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

①あてはまる 2	・キャリア教育として実際に話を聞く機会はあるのは良いと思います。
----------	----------------------------------

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

①あてはまる 2	・イメージがつかない職業であるため、専門用語などかみ砕いていただけるとわかりやすいと感じました。現場や動画が見れるとさらにイメージが掴みやすいと思います。
----------	---

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

①あてはまる 1	
②あてはまらない 1	・札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、組み合わせ次第で可能だと思います。

【内航コンテナ荷役デモ・体験乗車】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

①あてはまる 2	1.現場を見る、体験できるので魅力的であると感じます。 2.ベテラン層だけでなく、若い女性が働いていることでさらに興味を持てました。
----------	---

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

①あてはまる 1	・トラックに乗り助手席でここの手順で仕事を行っているというのがお伺いできたため、わかりやすく内容が頭に入ってきました。体験できない生徒との理解度の差は課題です。
②あてはまらない 1	・乗るためだけに行った感じがしました。

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

①あてはまる 1	・事前に体験人数のお知らせ・待っている生徒を飽きさせない工夫が必要であると感じます。このご時世ですので、消毒などコロナ対策があると学校は安心かと思います。
②あてはまらない 1	・乗っていない時の内容をもう少し充実させてほしい。

【水先人講話】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

①あてはまる 2	・キャリア教育として実際に話を聞く機会はあるのは良いと思います。
----------	----------------------------------

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

①あてはまる 1	・どのような仕事なのか、どこで免許を取れるのかなど知りたいポイントがわかりやすく、ユーモアがある説明であったという間でした。
②あてはまらない 1	・講話内容はもう少し事前に詰めた方が良かったと思いました。

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

①あてはまる 2	・札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、大型校にも対応できれば可能かと思います。
----------	--

【船長講話】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

①あてはまる 1	・キャリア教育として実際に話を聞く機会はあるのは良いと思います。
----------	----------------------------------

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

①あてはまる 1	・実際に乗船する学校なのか、講話のみなのかによって伝え方は異なると思いますが、フェリー乗船前でしたのでフェリーでの楽しみ方などもあると良いと感じました。
----------	--

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

①あてはまる 1	・札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、大型校にも対応できれば可能かと思います。
----------	--

【フェリー荷役見学】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

①あてはまる 1	・実際にフェリー内を見学するのは初めての生徒様も多いためインパクトがあると思います。
②あてはまらない 1	

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

②あてはまらない 2	・見学のみの感覚でしたのでご案内してくれる方がいるとわかりやすいと感じます。
------------	--

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

②あてはまらない 2	1.見学のタイミングによると思いますが、一般客の車が多数ある状態では車を傷つけてしまったりなど不安要素があるかと思います。 2.あまり必要性を感じなかった。
------------	---

【特別授業（船内講話）】（2日目）

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

①あてはまる 2	・一番ご提案したいと感じました。将来何をしたいか見えない生徒の視野も広げてくれる講話かと思います。
----------	---

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

①あてはまる 2	1.自分の体験談など初めて聞いた方でもイメージしやすくわかりやすかったです。 2.若い方が講師でしたので、飾りすぎてないリアルさが伝わりました。
----------	---

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

①あてはまる 2	・札幌市内の中学校は3～6クラスが多いため、大型校にも対応できれば可能かと思います。
----------	--

5. 修学旅行として実施するにあたり、改善すべき点を教えて下さい。（記述）

- 1.札幌市内中学校は大型校が多いためどのように見学地を回すかなどコーディネートいただけると非常に有難いです。営業マンも見学イメージがわからない人も多いかと思います。
- 2.普段馴染みがない場所の見学・専門的な仕事であるため、生徒に伝わる説明であるとなお良かったです。（水先人・フェリー内講話は分かりやすかったです）思ったよりもハードルを下げたご案内でちょうど良いと思います。現場見学前に全体像の仕組み説明はあるとイメージがわかりやすいと感じます。＊フェリーは下記6へ記載
- 3.各資料は、視察団には理解できても、修学旅行生にはあまり興味のないものや難しいものもあった。もう少し学校向け、学生向けに分かりやすくした興味の持てる資料作成が必要だと思います。

6. 修学旅行にフェリーを利用する場合に、ハードルと考えられることがあれば教えて下さい。また、その解消策へのアドバイスがあれば教えて下さい。（記述）

- 1.料金設定：札幌市内中学校では市教委から旅費の上限金額が決められています。
- 2.時間：授業日数が足りなく2泊3日が主流です。移動時間を超える魅力提示が必要です。
- 3.安全面：学校は保護者へ説明会を開催し慎重に行っています。飛行機・JRの方が移動時間が短く安心と感じやすいため、コロナ対策・緊急対応等書面化が必要だと思います。
- 4.電波状況：旅行会社にとって電波が繋がらないのは不安でした。先生もですがグループLINE・電話でやりとりが行われているためWifiなど電波環境が整うと提案しやすいです。

7. 今回の体験会に参加してみて、全体を通しての感想を教えて下さい。（記述）

- 1.移動時間を優先してしまうことが多く、プライベートでもなかなかフェリーに乗る機会がありませんでした。無料で体験できるのは参加しやすく大変有難いです。
- 2.フェリー内での楽しみ方を事前にお聞きできると、より満喫できたと思いました。（テレビでどのあたりを走行しているかわかる、おすすめポイント、朝日や星空が綺麗・日時など後から知って少し後悔しました…）貴重な機会をありがとうございました。
- 3.関係機関の方の考え方や、学校様の期待していることが直接聞けて参考になりました。自分自身、初めての航路だったので新しい引出として今後のセールスに繋がれるよう努めます。ありがとうございました。

【教育関係者まとめ（3名）】（仙台航路）

フェリーを利用した修学旅行体験会アンケート

1. 今回の体験会に期待したものについて教えてください。（記述）
2. 実際に体験してみて、その期待は満足されましたか。 期待した内容それぞれについて回答をお願いします。

①非常に満足 ②やや満足 ③やや物足りなかった ④物足りなかった

- 1.フェリーの乗り心地や船室の快適さについて確認する
⇒②設備が整っていて、トイレや風呂、食事は十分に満足できるものであった。
ただ、船酔いについては個人差があり、自分自身も軽く船酔いを感じた。
- 2.宮城県の見学施設の現状について知る
⇒②限られた時間での体験であったため、慌ただしく、移動距離のある体験もあったため、多少の物足りなさを感じた。
- 3.移動距離や交通状況について知る
⇒①バス移動の距離感は、およそ予想通りでロケーションについても体験することができたのでよかった。
- 4.東北地方への中学生修学旅行について、震災学習の内容や所要時間など、岩手県で実施している
⇒③海事や物流、SDG s について内容は充実したが、中学生の興味関心は低いと思います。講話は30分程度が良いと思います。
- 5.震災学習との比較材料としたい。また、仙台市を中心とする見学先や体験学習など
⇒①2日目の震災学習については、コンテンツや施設など充実していた。防災・復興と町づくりなど、テーマに応じた震災学習の可能性を感じました。
- 6.今後の修学旅行のコース検討について参考にさせていただきたい。
⇒① ※意見なし
- 7.修学旅行を企画、旅行代理店に依頼するにあたり、フェリーとそれに関連した見学場所での学習内容、安全対応、感染症対策などを自分自身で体験し、判断材料とするため。
⇒①「学習内容」物流の規模として、単に数字だけでなく、実際の大きさを感じることができる。また、職業として表に出てこない裏方の仕事など職業観を広げるのにも大変役に立つと感じた。
⇒③「安全対応」船の事故は恐ろしいと印象づいた事件があり、保護者から必ず聞かれると思われる。話を聞いていて小型の定期観光船とは安全面での基準など大きく異なるのだらうな、と感じるし、実際不安は感じなかったのだが、問い合わせに対し、答えられる材料があると良かった。
⇒①「感染症対策」各所で対策がとられており、また、文章としても明示されていたので、不安はなかった。

3. 今年と昨年の修学旅行で利用した交通機関と訪問先を教えてください。（複数選択）
 また、利用した理由に加え、フェリーを選択しなかった理由、障害等あれば教えてください。
 【交通機関】①JR ②飛行機 ③バス ④フェリー ⑤その他

2021年度	
桜 蘭 中	【交通機関】①JR、③バス 【訪問先】中尊寺、盛岡、田老 【理由】中尊寺より南を予定していなかった。 生徒の乗り物酔いに不安を感じるため、選択支になかった。
幌 別 中	【交通機関】③バス 【訪問先】富良野・美瑛・旭川 【理由】道内修学旅行旅行であったため
室 教 委	【交通機関】③バス 【訪問先】旭川・トマム・上富良野・留寿都 【理由】コロナ対応にともない、室蘭市として道内修学旅行としたため

2022年度	
桜 蘭 中	【交通機関】③バス 【訪問先】旭川、小樽 【理由】道内の旅行のためフェリーは考えなかった。
幌 別 中	【交通機関】③バス 【訪問先】富良野・美瑛・新得 【理由】道内修学旅行旅行であったため
室 教 委	【交通機関】③バス 【訪問先】 【理由】室蘭市として道内修学旅行としたため ※前任校は、2021年度と同様のコースで実施。

4. 以下の各プログラムについて、修学旅行への組み込みの可能性を「①あり・②なし」のどちらかを選択しその理由を教えてください。また、「新しい学習指導要領」では、物流などを基に、国内各地や日本と世界との結びつきの特色を理解することが求められていますが、これらの学習に活用できる内容であったかについても教えてください。（記述）

【船のSDGs（運輸局講話）】

② なし 3	1.現在、物流に関する教育にはまだ取り組めていなく、生徒の興味関心に響かない内容だった。 2.内容としては大変面白いが、講義形式で終始したため、これを目的としては利用しにくいと感じた。事前学習に対して疑問点を質問させていただく、現物（部品・モデルなど）を触らせていただくなど体感できるものが欲しい。また、個人的に感じたのは、最後に少しだけされていたキャリアの話や仕事の内容が身近にない仕事内容なので面白そうであったことから、写真などをもう少し膨らませてほしいと感じた。
--------------	--

	3.修学旅行については、物流よりも歴史や文化、最近は防災学習に関する学習に重点を置くことが多かったです。物流や船舶に関する学習内容は必要なことではありますが、次年度以降、道内から東北地方への修学旅行に戻す学校も増えてくると思いますが、道内修学旅行において道内での研修を行うニーズや興味関心は低いと考えます。
--	---

【RORO船見学】

① あり 1	・なかなか普段見ることができないため、格納の大きさを実感できた。欲を言えばびっちり荷物が入っている状態を見れるとより積載量を感じることができるのではないかと思います。
② なし 2	1.限られた時間の修学旅行の見学としては、内容に物足りなさを感じた。 2.小学生の地域学習や中学生の職業体験学習のコンテンツとしては、有効と考えます。しかし、胆振近郊の市町からフェリー乗船前に道内での見学先としてのニーズは、高くないと思います。道内中学2年生の宿泊研修や小学生の社会科見学の候補として考えたい。

【苫小牧埠頭見学】

① あり 2	1.ちょうど船がついており、積み荷の移動などみることができたが、見れるタイミングがどの程度か少し心配である。（港だけだと実感がわかないかもしれない）船の国籍なども「あの中に海外の方が働いている」と感じると航路などにも大変興味がわいてきた。なんとなく案内の方が話されていた大きな倉庫に担当が一人、というのもおそらく中学生は驚く点かと思う。 2.内容としては、充実しておりました。ウポポイとのセットの行程等が候補と考えます。また、胆振管内の中学校宿泊研修では札幌や石狩管内での見学から苫小牧埠頭見学に切り替える余地はあったと感じました。
② なし 1	・限られた時間の修学旅行の見学としては、内容に物足りなさを感じた。

【水先人講話】

① あり 1	・講義形式であったが、動画などもあり、また、初めて知る職業についての話であったので、興味深く聞かせていただいた。中学生としては2カ国語を話せるあたり披露いただいたりすると興味を持つかもしれない。
② なし 2	1.現在、物流に関する教育にはまだ取り組めていなく、生徒の興味関心に響きづらい内容だった。

	2.中学生の修学旅行や職業講話としては、ニーズが高くないと感じます。水先案内人の重要性は認識できましたが、キャリア教育としては、特殊な業種であり、修学旅行用のコンテンツとして組み込む必要性を感じませんでした。
--	--

【船長講話】

① あり 3	1.プレゼンテーションがわかりやすく、生徒の興味を引く内容であった。話のエピソードも感動や共感を得るもので、思い出に残る内容だった。 2.船長さんが大変お話上手で面白く聞かせていただいた。船の職業を目指したい、と考える子どもたちも増えるかと思う。水先人の方のお話とセットで長くないよう職業に纏わる話として大変参考になると思う。 3.船長の講話は内容も充実しており、ユーモアのあるお話で中学生も興味を持って聞くと感じました。しかし、修学旅行でのフェリーに乗る前に実施となると、生徒の人数と会場の広さ、日程など調整が必要と感じます。
--------------	---

【フェリー船内・荷役見学】

① あり 3	1.フェリーの乗船に際して、フェリーの働きや仕組みについて理解をするのに有益で、生徒の視野を広げる一助になると感じた。 2.実際に船にどうのせるのか、また、昨今の情勢が積み荷の変化に見られるのも面白い。ただ、子供たちに解説なしで見せてもわからないと思うので、解説してくださる方が是非ついてほしいと感じた。（今回は解説いただき、大変興味をもてました。） 3.フェリーの利用を検討する上では、非常に参考になりました。200人規模の学校の対応が可能であることがわかりました。船内も大変綺麗であること。教員として管理がしやすいように感じました。しかし、船内見学は、修学旅行の行程に組み込む必要性はないかと思いました。
--------------	---

5. 1日目の体験を通して、海事・物流産業に対する理解が深められる内容でしたか。

また、特にどのプログラムを体験して感じたかも教えてください。 (記述)

1.フェリーに馴染みのない生徒にとっては、乗船の体験だけでなく、船内での仕事の内容や、講話などを通して、大きく視野を広げる可能性を感じた。 2.大変理解が深まった、または、理解を深めたいと感じる導入として有意義なプログラムでした。これから何を見に行くのか説明を聞き、実際見て感じる一連の流れでしたので、特にこのプログラムが、というのはありませんでした。しかしながら特に挙げるのであれば、港でギリシャ国籍の船がブラジルの穀物を運んできている、という状況が、現在進行形で進んでいる貿易というものを実感できたと感じました。 3.海事・物流産業について理解を深めることができましたが、中学生の修学旅行を東北に設定する場合、中尊寺などの歴史分野や震災学習などに重点を置く場合が多いと感じます。胆振管外からの学校がフェリーを利用する場合、埠頭見学やRORO船見学という流れは、ありだと思います。胆振の学校は、修学旅行で地元での学習活動を取り入れることは考えにくいと思います。
--

6. 以下の各プログラムについて、「①あてはまる・②あてはまらない」のどちらかを選択し、その理由を教えてください。（記述）

【船のSDG s（運輸局講話）】

・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 1	・船舶による輸送の有効性について、わかりやすい内容でしたが、1時間は長いと感じました。
② あてはまらない 2	1.生徒の知識との講話の内容がリンクしづらく、興味を引く内容が少なかった。 2.内容自体はとても大切な話と感じたが、少々長くなってしまっていたため、中学生は整理、理解が難しいかもしれない。

・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 1	・SDGsにまつわる話はぜひとも聞きたい学習内容である。事前学習も交えて、深めるのが良いのではないかと感じた。
② あてはまらない 2	1.生徒の知識との講話の内容がリンクしづらく、興味を引く内容が少なかった。 2.中学生対象の修学旅行の行程としては、日程と内容を考慮したとき、優先順位は低いと感じました。

・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 3	1.講話やプレゼンテーションの内容にもう少しわかりやすい工夫をお願いしたいが、普段知らない社会の活動を知る場面としては価値があると思う。 2.上述させていただいているが、事前学習からの現場での声ということで、社会科見学の中の一要素としてほしいと感じた。 3.内容は良かったのですが、時間とボリュームが多いように感じました。講話の内容が多岐にわたっていたので、時間を短縮し焦点化した方がよいと感じました。
--------------	---

【RORO船見学】

・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 3	1.単純にどういう仕組みになっているのかは、理解できるものだった。 2.実際にみて、その大きさを感じることができたのがとてもよかった。 3.わかりやすい内容でした。
--------------	--

・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 1	・物流を写真や数字ではなく、目で見れたということで学習効果が大きくなるを感じる。（船の大きさに対し、操船人数なども関わりのない我々からすると驚くほど小人数）
② あてはまらない 2	1.所要時間に対して、内容に物足りなさを感じた。 2.中学生の学習としては、規模の大きさなどは実感できるが、情報量としては少ないと感じます。

- ・ 社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 1	・ ぜひみさせていたきたい。可能であれば、船上も登らせていただけると記憶に残る体験になるのではないかと感じた。
② あてはまらない 2	1.日常生活で知ることのない社会の活動を見学する場としては価値があると思う。 2.小学校の社会科見学として、埠頭見学とセットで丁度よいと思います。

【苦小牧埠頭見学】

- ・ 生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 3	1.埠頭の物流の様子がわかった。 2.港見学プログラムの肝かと思います。 3.わかりやすい内容でした。見学コースとして規模の大きさを実感できると思います。見学しながらの説明がわかりやすかったです。
--------------	--

- ・ 中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 2	1.物流の学習資源としては価値があると思う。 2.社会科でも職業についてでも、実感を伴う有意義な内容ではないかと考える。
② あてはまらない 1	・ 物流について学習する機会としては、良かったと思います。しかし、道内の中学生の修学旅行の見学先としては、ニーズは高くないと思います。

- ・ 社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 3	1.日常生活で知ることのない社会の活動を見学する場としては価値があると思う。 2.ぜひ体験させてあげたいと感じる。 3.道外からのフェリーでの修学旅行受け入れの場合や小学生の社会科見学のコースとしては、良いと思います。物流を最もイメージしやすい見学先でした。
--------------	---

【水先人講話】

- ・ 生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 2	1.写真中心のプレゼンテーションはわかりやすい。 2.仕事の内容が動画等も交え、わかりやすく説明いただけたと感じた。船の着眼速度、日本人乗務員の減少についてなど、なぜかと考えるきっかけになるものもあり良かった。
② あてはまらない 1	・ 児童生徒の興味関心は、高くないと感じます。

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 1	・主にキャリア教育方面になると考えられるが、職業観を広げる一助になると考えられる。
② あてはまらない 2	1.現在、まだ物流に関する教育が進んでいなく、生徒の興味関心に響きづらい。 2.水先案内人を目指す児童生徒が多くはないと思います。特定の業種の説明は、修学旅行用のコンテンツではなく、職業体験学習やインターンシップ向きと考えます。

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 1	・日常生活で知ることのない社会の活動を見学する場としては価値があると思う。
② あてはまらない 2	1.貿易についての見学学習の内容としては、直接的には関わりがないような印象もある。社会科見学のテーマや社会科の教諭の考え次第になる部分はあるが、キャリア教育に偏っていると感じた。 2.水先案内人を含めて、港湾関係の業務について、児童生徒の関心に応じて見学や話を聞くことができるコースを選択することができると良いと思いました。

【船長講話】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 3	1.話術が巧みで、プレゼンテーションの内容も整理されていて、わかりやすい。 2.章立ての工夫、事前に全体像をお話いただけたこと、具体的な例を交えて、船乗りについての説明など細かい工夫があり、話を聞いていて理解しやすいと感じた。 3.わかりやすい内容でした。プレゼンテーション技術の高さを感じました。一部、SDGsの講話の内容と重複しているように感じました。
--------------	--

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 3	1.フェリーについての知識や理解を深めると共に、感動や共感を得る内容で大変よかった。 2.キャリア教育と一貫輸送の話などで人と物の移動の効率など幅ひろい学習内容となっており、中学生にも適当であると感じた。 3.船舶の特徴や有用性、海運、SDGs など、網羅された内容でした。実施をお願いする場合、会場や行程などに課題を感じました。
--------------	---

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 3	1.日常生活で知ることのない社会の活動を見学する場としては価値があり、職業の理解に大きくつながる内容だった。 2.キャリア教育に寄っているが、経済、物流に興味を持てる内容であったと感じた。
--------------	---

【フェリー船内・荷役見学】

- ・生徒にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 2	1.フェリー内の施設や、働きを理解する上で有益だった。 2.船内見学は、フェリー泊を検討する上で、参考になりました。
② あてはまらない 1	・物流の変化と時代の流れを結びつけることができる解説などあればわかりやすいと感じた。タイミング的によい教材の荷物が運ばれていればよりよい。

- ・中学生向けの学習として、適当な内容だった。

① あてはまる 2	1.船の体験がない生徒が多い現状から、貴重な体験になると思う。 2.社会の変化と連動しており、学校での学習内容と照らし合わせながら学習できるのではないかと感じる。ぜひ社会科の教員にも意見を聞くとよいと感じた。
② あてはまらない 1	・もし、中学生がフェリーを利用する場合、安全確保の観点から生徒のみでのデッキへの見学の制限などは、どのように対応しているのか参考にさせていただきたいと思いました。

- ・社会科見学等で活用できる内容だった。

① あてはまる 2	1.職業理解につながり、視野が広がる内容に思う。 2.何と結びつけてどのように解説するか、にもよりますが、学習になると感じました。
②あてはまらない 1	・フェリー内見学は、社会科見学としては活動は難しいと思います。

7. 震災学習（2日目）によって、「いのち」の尊さ、人への思いやり、支え合うことの大切さを学べる内容だったかについて教えてください。（①はい、②いいえ）（記述）

① はい 3	1.被災現場での震災学習は、強く生徒の心に響くものであり、価値があるものと感じた。 2.十分に学ぶことのできる内容であったと感じた。実物をみた衝撃から全容を解説いただき、最後に復興とその中に残る傷跡とストーリー的にも感じる場所があった。 3.震災後、10年以上が経過し、中学生以下の児童生徒には、震災の記憶が薄いことも予想される中で、「命」や「支えあう」、「防災」について、学ぶことができる内容だったと思います。
--------------	--

8. 修学旅行として実施するにあたり、改善すべき点を教えてください。（記述）

1.修学旅行として、道内の中学校は道内での研修ではなく、道外での研修に時間を費やしたいと考えます。中学校の地域学習としては、1年生では地元、2年生では道内、3年生では道外と活動の場を広げていく場合が多いです。また、物流やSDGsは、小学生の社会科見学や道外の中高生の修学旅行受け入れの際に、北海道の産業を学習する機会としてはいかがでしょうか。今回、女川の復興と町づくり施策などは、見学後に自分の町との比較や今後の町づくりのイメージ、職業観など、見学後の学びにつながると感じました。
--

2. 今回の研修コースは、視察として考えたときに「震災学習」の施設やコンテンツを比較するのに有意義ではあったが、同様の施設を複数見学するのは、限られた修学旅行の日程では現実的ではない。より多くの感動体験を経験できるようなコース設定が必要だと感じた。
3. 一つ目は、講義形式が多いのがネックかなと感じました。多くを伝えたいと考えても講義形式になるのですが、今回伝えていただいた内容のおそらく子供の中に残るのは多くないと思います。もちろん子供それぞれで興味を持った内容を持ち帰るとおもいますが、無駄ではないのですが、もう少しポイントを絞っていただくと狙った内容が子供たちに落ちるのではないかと思います。あと体験と解説はいっぱいしていただきましたので、講義の中にも穀物のサンプルを見せていただいたような部品など触らせていただける場面などがあると印象に残るかと思いました。
2つ目は苫小牧港からの出港の時間がどうしても気になります。修学旅行に出発して、1日目が苫小牧で、夜出発というのは生徒たちとしては少し疑問に感じるかもしれません。3泊4日の修学旅行であれば良いのですが、2泊3日の場合、スケジュール的に厳しいと感じました。
最後に、特に2日目3日目の日程は、もう少し子どもの自由見学の時間や土産物購入の時間など設ける必要を感じます。流れとしては良いと感じましたので、できればそのまま体験させてあげたいのですが、もう少しプログラム整理、昼食会場の選定などで時間が生み出せないかと感じておりました。が、そのあたりは旅行代理店様のほうが詳しいですね。

9. 修学旅行にフェリーを利用する場合に、ハードルと考えられることがあれば教えてください。また、その解消策へのアドバイスがあれば教えてください。（記述）

1. 船酔いをした生徒の対応に不安を感じる。体調不良者が出た場合、夜間の看護が必要となるが、複数の生徒の看護に複数の教員を配置する状況になると、その後の引率に支障を来すことが考えられるため、医療スタッフなどの支援があると負担の軽減につながると思う。
2. 学校の修学旅行としてそれまでの学習の流れや各校にある修学旅行の流れから大きく変更となることから、1年生から3年間の総合的な学習の時間の変更も必要となるため、次年度すぐに取り入れるといかないことがあると思います。またその他教員、管理職、保護者の理解を得るのも少々時間がかかるかもしれないと感じました。また、保護者への説明という点では、アンケートの2の2つ目にも記載させていただきました安全面での説明が不可欠な時期かと思っています。フェリー会社の方に来ていただいて説明いただくわけにはいきませんので、担当教員がそのあたりをきちんと説明する必要があります。旅行代理店の方が資料を我々に提供していただいて、ご説明いただければクリアできると思います。
3. 現在、中学生の修学旅行では2泊3日が多く、フェリーを利用する場合、日程的に見学先数が制限されることが課題となると思います。また、道内から東北への修学旅行では、世界遺産の中尊寺や体験学習などとセットにできる行程を組むことも多いと思います。道内中学校の修学旅行では、見学先数の制限や出発・帰着時間等の条件面から、JRや飛行機を選択すると思われます。費用面だけではなく、フェリーでしかできない体験学習などをご提案いただけると、検討する学校は増えるのではないかと思います。

10. 今回の体験会に参加してみて、全体を通しての感想を教えてください。（記述）

- 1.旅行は「感動体験」ができることに大きな価値があると感じた。修学旅行では景色を見ると、人とふれあうこと、新しい体験をすることなど、様々な角度からより多くの感動体験を盛り込みたいと思う。その意味でも、フェリーは、非日常的な洋上での体験（朝日を見ることや、星空をみること、洋上を移動すること、洋上から陸地を見ること、スタッフとの交流）など、多くの感動体験を得られる場だと感じた。フェリー移動のメリットを十分に周知すると共に、現実的なモデルコースや金額の見積もりを提示することで、フェリーを利用したいと考える学校が増えることを期待したい。
- 2.海に関わる学習内容として大変秀逸で、経済（物流）、科学や道徳として、自然への畏敬（津波）、恩恵・美しさ（水族館）と中学生でなくともツアーの中で感じる部分がありました。また、震災遺構からその後の復興、未来への希望と人と人のつながりや強さにも大変感動しました。海沿いの学校として一つのパッケージプランとして利用させていただきたいと思いました。船旅も15年ぶりくらいですが、朝日の美しさ、海から見る陸、揺れなど様々な面で子供たちにも1度は体験させてあげたいと感じます。この度は貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。
- 3.運輸支局と苫小牧港開発の皆様、この度は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。本年3月まで中学校教諭として、修学旅行の企画をさせていただくことがありましたが、フェリーでの修学旅行は、運行時間や行程の都合上、見合わせておりました。この度の体験会において、宮城県の震災学習の価値を改めて確認することができました。また、道内宿泊研修の際の行程として、苫小牧を新たな選択肢として考える機会をいただきました。今後、学校現場に復帰した際は、この度の経験を学校現場に還元してまいりたいと考えております。3日間、ありがとうございました。

【旅行関係者まとめ（８名）】（仙台航路）

フェリーを利用した修学旅行体験会アンケート

1. 今回の体験会に期待したものについて教えてください。（記述）
2. 実際に体験してみて、その期待は満足されましたか。期待した内容それぞれについて回答をお願いします。
①非常に満足 ②やや満足 ③やや物足りなかった ④物足りなかった

1. 仙台市内の視察

⇒①初めての仙台で、修旅で行くことが多いところを視察できた。

2. 苫小牧のコース別学習

⇒②時間がタイト、コンテンツ量が多く吸収するので精一杯だった。

3. 苫小牧港施設見学や特別授業が、学生向けの「学びのコンテンツ」として弊社ならではのプランとして造成が可能か？

⇒①サイロ見学 巨大な船や施設は興味を持ってもらえと思いました。

⇒②講話については、できれば実地（フェリーやタグボートなど）を実際に見る事ができれば尚良いとおもいました。

4. フェリーの乗り心地、使い勝手の良さを体験できること

⇒②想像以上に快適な乗り心地だったし、船内の各施設を見学・利用できてよかった。修旅団体に使うために解決が必要な課題もあったのでやや満足。

5. 宮城県内の観光商材を勉強できること

⇒①各見学地・施設にガイドを付けていただいたので勉強になった。とても貴重な体験になった。

6. フェリー関係での学習効果

⇒①フェリーの仕組みについての講話や見学に加え、SDG s や物流への考え方を学ぶことができ、貴重な時間を通して生徒様への学習効果は高いものであると思いました。ただ、事前学習を取り組んでいないと、この時間で理解するのは難しいのではないかと思います。

7. 見学時の安全対策

⇒③修学旅行という学校生活での一番の行事で万が一が起きてしまわないように細部にわたって安全対策を徹底した方が安心して実施できると感じました。

8. フェリー移動での学校様への対応・対策

⇒②生徒様には、やはり貴重な体験になると思います。移動時間が長いことを逆手にとるように上手く時間を有効的に使えるか、フェリーを利用するメリットを印象付ける必要性があるなと感じました。

9. 船のSDG s 講話と貨物船

⇒③講話は船の重要性（環境面など）普段知ることができない内容でよかったが中学生向けには内容を要約し聞いてて飽きない工夫が必要と感じました。

10. 貨物船・倉庫・荷役物流見学

⇒②普段見ることができないところを実際に見ることができ非常に良かった。

11.フェリーの利用促進つなげる提案	⇒③現状、学校様は船酔いをかなり気にされるのと出航時間が限られているという点で中々組み込みづらい。
12.仙台の各利用施設での修学旅行ならではの体験	⇒①伊達武将隊など、普段の旅行では体験できない団体ならではの面白い体験をすることができた
13.1日目の苫小牧港での見学施設	⇒①見学させてもらえる施設さんとしては大変素晴らしいコンテンツでした。あとは学校向けに受入体制をどのように整えていくかが肝心かと思います。
14.フェリー乗船	⇒①「きたかみ」ではとても快適に過ごさせてもらいました。学生向けに「臨時便」とかの対応ができれば良いなと…は思いました。（もちろん料金アップで）
15.女川町観光協会	⇒③女川の町づくりについてはとても興味深かったです。街歩きは少し間延びしてしまっただけかなと思います。
16.フェリーの利便性・乗り心地の体験	⇒②宿泊も伴いながらの移動手段としては有効性を感じた。学生をターゲットにしたときの船酔いが懸念される。
17.苫小牧港における教育旅行素材の体験	⇒②船舶内の見学など、帯広のような内地では体験できないことに魅力を感じた。中学生には少しレベルの高い素材だったように感じる
18.宮城県における震災学習について	⇒①復興の様子が、はっきりと残っており、震災に対して考えるきっかけになる素材が多くあり、ぜひ提案したいものであった

3. 以下の各プログラムについて、修学旅行への組込みの可能性を「①あり・②なし」のどちらかを選択しその理由を教えてください。（記述）

【船のSDGs（運輸局講話）】

① あり 6	1.船全般の知識がなく初見の状態だったので「海運の重要性」にまつわる講話だけでかなり勉強になった。SDGsも面白かったが時間を分けないと中学生では集中力が持たない。講話中のあるスライド、牛乳をテーマにどの港からどこへ何が運ばれているかを示したスライドが中学生にとっても生活に身近で海運の重要性を学ぶのにとっつきやすく深掘してもいいと感じた。
	2.教育で注目されているSDGsの内容に絡めた内容で、さらに船についても学べる内容であったので、修学旅行の行程に取り入れるのも面白いかと思いました。ただ、若干内容の難しい専門的な内容もあり、生徒様だと理解できるかとも思いました。
	3.船の優位性・環境面（SDGs）についてよく理解できる内容でした。しかし中学生向けには講話時間が長く飽きてしまうと感じました。講話時間を30分程度に要約し、なおかつ一方的な講話ではなく問題を出すなどの工夫もありかと思います。

	4.SDG s は今、多くの学校が注目している分野なので、とても紹介しやすい。 また、物流という生活に欠かせない分野を学ぶいい機会にもなると思う。 5.学校行事での見学の際、生徒へ向けての導入のお話しでは良いと思います。 SoxやNoxなどのお話しは少し難しかったように思います。生徒向けにお話しになる際は、まずは基本的なことから興味をひくような流れになるともっと良くなると思います。 6.近年の注目ワードである<SDGs>を題材にすることは、学校への提案としては、非常に効果的だと思います。
② なし 1	・2年生の宿泊学習（1泊2日）の行程では利用できそうだが、修学旅行で道内コンテンツは可能性が低いです。

【RORO船見学】

① あり 3	1.舟の種類・役割を学ぶ上で本物を見れる体験はすごく基調で提案しやすい。 定期船なので見学のタイミングを相談しやすそう？ 2.間近で見るRORO船の大きさ・車の搬入・搬出作業は迫力があり普段入ること事ができない場所を見学することは非常に価値があると感じました。 今後は実際に受け入れを行うにあたり可能な人数や日程など詳細を明確にして頂けると良いと思います。 3.めったに見学できない箇所であり、RORO船という言葉もはじめて聞いたのでとても興味深かった。見学の仕方としてはいくつか改善も必要かと思います（案内の方の声が船の音で聞こえにくい／大きいメガホンや1人ずつイヤホンを用意する？／もう少し解説を詳しく、見学時間を長くして欲しい等）
② なし 4	1.貴重な体験ではありましたが、修学旅行においての安全性、また大人数での参加になると説明していただいている内容が全員に届くのかは不安に感じました。コロナ禍でできない操舵室の見学などを実施できれば、生徒様の興味も上がっていくのではないかと感じました。 2.今回の体験できた内容はかなり満足度が高いが、常に今回見学した内容を体験できる保証がないため、提案が難しい。今回見たような大きい船を常に見学できるのであれば提案しやすいと思う。 3.2年生の宿泊学習（1泊2日）の行程では利用できそうだが、修学旅行で道内コンテンツは可能性が低いです。 4.修学旅行前にどれだけ、運輸のことを学んでいるか注目しているか、突然この内容だけを見学してもあまり学生にとっては、ピンと来ないのではないかと。

【苫小牧埠頭見学】

① あり 6	1.RORO船見学と同じく、学びの機会としてとても貴重な体験だと思った。 2.実際に現場を見学できること、普段経験することのできない施設内の見学において、修学旅行の学習効果を高められる時間になると感じました。 3.R O R O船と同様に普段立ち入りすることができない場所を見学できるのは良い。今回はパナマックス船を見ることができたが、これが停泊していないと少し残念。 4.普段見ない工場の中を見学するのは非常に新鮮だった。修学旅行ならではの体験として非常に提案しやすい。 5.導入の説明→見学の流れが良かったです。見学ではあんなに大きな船や飼料が直接サイロに送られるところなど大変貴重な見学だった。サイロの展望台も印象に残りました。サイロ工場内は高さがあり、安全面が気になりました。スタッフの方も限られると思うので、どのように見学するかがカギ。また大きな船が着いていない時はどうするかなど。 6.流通の分野について詳しく学べる機会としては、提案の価値はあるとおもう
② なし 1	・2年生の宿泊学習（1泊2日）の行程では利用できそうだが、修学旅行で道内コンテンツは可能性が低いです。

【水先人講話】

① あり 4	1.世間で知られていない職業を知るきっかけになるとともに、生徒様の新たな将来の選択肢になる機会にもなる時間にもなると感じました。 2.専門的な職種ということもありキャリア教育としても良いと思います。しかし講話内容は運輸局の講話と同様で、長く専門的すぎる部分も多かったのもう少し中学生向けにレベルを落としても良いかと感じました。 3.このような職業があるのは自分も知らなかったし、基本かわる相手が外国人であるなどこういったお話を聞けるのは、すごく貴重な体験だと思った。 4.「水先人」の仕事とは、海の仕事とは を知ることができとても興味深かったです。映像を流していただいたので、イメージしやすかった。生徒向けに話す時はもっとかみ砕いてお話ししてもらえるとよりわかりやすいと思います。（大変なこと、どのように外国人の船長とコミュニケーションを取っているのか、気を付けている事など）
② なし 3	1.RORO船・ふ頭の見学をメインとするならばそこでかなり時間を要すると考え②にした。講話系は事前学習で出張で来ていただく（orオンライン）などでも機会を作れそう。 2.2年生の宿泊学習（1泊2日）の行程では利用できそうだが、修学旅行で道内コンテンツは可能性が低いです。 3.講話の形式だと、なかなか集中力が持たないのが、学生の特徴かと思います。歴史を遡る点では、事前学習があれば、よいのかと。

【船長講話】

① あり 6	1.乗船込みの行程であれば講話組み込みの可能性は高いと思う。内容が運輸局様のお話と多々被る部分があったのが気になった。 2.なかなか聴くことのできない船長さんのお話を聴ける貴重な時間になりますし、水洗人さん同様、新たな将来の選択肢になる機械にもなるので、修学旅行の取り入れたら良い学習になると感じました。 3.講話が洗練されており中学生でも飽きさせない内容（トーク力）でした。 4.ユーモアのある講話だったため、聞いてて非常に飽きないので学生も楽しみながら聞ける点が素晴らしかった。 5.先生顔負けの生徒の心を掴む話し方とプレゼン動画でした。船長からお話を聞けること自体貴重なことですが、実体験を交えて大変分かりやすく講話をしてくださったので、海や船に対する熱い想いがより伝わってきて、是非学生たちにも聞かせてあげたいなと感じました。 6.さすが船長という講演で、今回のスケジュールの中で後半部分にありましたが、興味がそそられる内容でした。学生目線でお話いただけるので、フェリー乗船前に、この機会があるのは、とてもよいと思います。
② なし 1	・2年生の宿泊学習（1泊2日）の行程では利用できそうだが、修学旅行で道内コンテンツは可能性が低いです。

【フェリー船内・荷役見学】

① あり 2	1.ターミナル屋上から荷役見学ができる点はよいと思います。船内見学が学生団体だとそれなりの人数がいる為難しいと思いました。 2.展望デッキからの見学は全体を見渡しながら振り返りができたので良かったです。1度にたくさんの人数もOKだと思う。船内ですが、見学というより学校利用時のイメージをもっと知りたかったです。入船時は？鍵は？食事は？班長会議は？など。きたかみ船内はとても快適で過ごしやすかったです。
② なし 5	1.船内見学は小人数であれば可だが通路・部屋が狭いため1フロアに対して1クラスが実施ぎりぎりの人数だと思う。また、コロナ情勢次第だが一般客が使う部屋を生徒が入るのは…という課題がある。札幌の中学校を想定するなら船内に入りまず班長会議や室長会議、室内破損チェックを行うことが多いので乗船を相当早めないといけない。荷役見学はRORO船見学にまとめていい。 2.見学内容に関しては修学旅行の見学時間に取り入れることも十分だと感じています。人数が少しでも多い学校様だと見学は厳しいとも思いました。 3.船内の船長室など、普段は入れない場所を見れるのは修学旅行だからこその体験だと思った。学校にも提案しやすい内容だった。 4.2年生の宿泊学習（1泊2日）の行程では利用できそうだが、修学旅行で道内コンテンツは可能性が低いです。 5.RORO船同様に、事前の学習・興味によって効果はまちまちかと思っています。

4. 以下の各プログラムについて、「①あてはまる・②あてはまらない」のどちらかを選択し、その理由を教えてください。
(記述)

【船のSDGs（運輸局講話）】

・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

① あてはまる 6	1.「船のSDGs」というタイトルはキャッチーで良いと思います。タビマエ学習ができるか否かで理解度にかなり差がでると思います。少し時間が長いように感じました。 2.自分の生活と海運がどのように接しているのかわかるおもしろい講義だった。中学生に対しても受ける内容だと思う。 3.SDGsを絡めた内容であるため、重要視されている内容にも直結し、船についても新たな学びができるため興味を持てる内容でありました。 4.ここでしか聞けない専門的な話で良いと思います。 5.ただ話を聞くだけではなく、資料を見ながらの内容なのでわかりやすかった。 6.近年の注目ワードである＜SDGs＞を題材にすることは、学校への提案としては、非常に効果的だと思います。
② あてはまらない 2	1.個人的に興味関心は持てましたが、あまりSDGs感が無かったように思いますもう少しSDGsに絡めたようなプレゼンが良かったのかなと思います。 2.事前学習でいかに興味を持たせた状態で講話を聞くかが重要。大学の講義みたいだった。生徒が主体的に参加できるクイズ形式とかにすると思う。

・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 3	1.もう少し短い時間で講話をまとめたほうが良い 2.学習としてはすごくよかったが、少し事前学習を促す必要はあるかなと感じた。 3.近年の注目ワードである＜SDGs＞を題材にすることは、学校への提案としては、非常に効果的だと思います。
② あてはまらない 4	1.海運の重要性についてのお話は予備知識がない状態で聞いたが、海運が生活に密着していることがよく伝わって勉強になった。SDGsは逆に船舶や他の運輸手段について学んだうえで講話を受けたほうがいいかなと感じた。「海運の重要性」が基本編で「SDGs」が急に応用編に入った感じだった。 2.生徒様にとって難しい内容や言葉であったかなと感じました。ただ、事前学習で取り組んでいれば非常に学習効果の高い内容であると感じました。 3.途中少し専門的な部分があり、難しいように感じました。専門的なお話しがあっても良いとは思いますが、生徒に向けてはステップを踏んでお話しして欲しいなと思います。 4.中学生には難しい。

回答無し	・中学生が対象の場合は、内容が少し難しいと感じました。
------	-----------------------------

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

① あてはまる 5	1.今回の体験が一連でできると仮定して、オリエンテーションとして運輸局の方からお話を聞くということであれば流れが作りやすい。ただし会場的には狭いかも。 2.講話を聴いて、実際の見学を行うとより理解が深まると感じました。 3.RORO船見学などを含めた流れのうちの一つに組み込むにはとてもいい内容だった。 4.講話なので話し手さんと場所さえあれば組み込みやすいと思います。雨天時も安心です。
② あてはまらない 2	・帯広からの出発を考慮すると、要検討の素材
回答無し	・時間が長いと学生は集中力が保てないので、タビマエ学習+当日短時間が理想。現実的に事前学習ができるか否か・・・。

【RORO船見学】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

① あてはまる 5	1.実際に見ると迫力があり、受入先との調整次第だがぜひ連れて見せてあげたいと感じた。 2.普段、体験することがなかなかできない見学ができるため関心を持てる内容でありました。 3.ここでしか見れないコンテンツとして良い 4.貨物専用の船ということで、あんなに積込めるのか、ぎっしり詰まった車を見たり、積込の工夫などを知ることができ、興味深かった。 5.後の船長のお話ででてきた動画を見て初めて、RORO船がどういうものか理解した。
② あてはまらない 2	1.船内見学のみで考えた場合、こういった船なのかを理解するのが学生だと難しい部分があると思った。 2.修学旅行前にどれだけ、運輸のことを学んでいるか注目しているか、突然この内容だけを見学してもあまり学生にとっては、ピンと来ないのではないかと。
回答無し	・RORO船という言葉自体を初めて聞く生徒が多いと思うので、興味は持ってもらえると思います。

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 4	1.わかりやすいし、むしろ実際に見て体験でよかった。どうしても周りの作業音で解説が聞こえなくなってしまうようなことは不安点。 2.船内に入って見学することができる点は良い。 3.バス車内で写真付きの説明があったので、わかりやすかったです。見学時は船の音でガイドの方の声が聞こえにくかったのが改善点です（近くに寄ったら聞こえるレベルですが、コロナ禍での集合は難しいかと）
② あてはまらない 3	1.説明していただいた内容は分かりやすい内容でしたが、甲板という環境によって説明が聞こえづらいところもあったため、工夫は必要かと感じました。 2.講話などで先に紹介があれば、中学生の学習資料としていいと感じた。ただ、苫小牧に常にいるわけではないので日程の調整などが難しいと感じた。 3.修学旅行前にどれだけ、運輸のことを学んでいるか注目しているか、突然この内容だけを見学してもあまり学生にとっては、ピンと来ないのではないかと。
回答無し	・船内では話の聞き取りは難しいです。事前にバス内での説明をしてもらいましたが、船内では目でみてわかるツール（説明が書いてあるプレートとか）があると良いかと思いました。

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

① あてはまる 2	・生で見ると迫力があるので、体験としては非常にいいと思った。
② あてはまらない 5	1.組み込みたいのが本音だが、上でも記載した通り受入先との調整が必須なことがネック。生徒が事前学習でRORO船の役割について学び、実際に見るという勉強の流れが作りやすい商材だと思う。 2.生徒様の安全性に少し不安がありました。大人数での見学になるとどのように対応できるのか、安全対策も徹底した中で実施できるのかなど改善をしていくべきかと思いました。 3.自動車を降ろしたタイミングでの見学となるため、時間的に制約がありそうだなと思いますが、どうでしょう。制約なければ問題ないと思います。 4.一度に入れる人数が少ない。 5.帯広からの出発を考慮すると、要検討の素材
回答無し	・船内は暗く、注意喚起の声も行き届かない場合もあると思いますので、多少、危険かな？と思いました。

【苦小牧埠頭見学】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

① あてはまる 6	1.RORO船見学と同じく、苦小牧でしか見れないという点がよかった。ふ頭で荷役をおろした後、どのように道内地域に運ばれていくのかも学べて生活に密着した学びになった。 2.普段の生活に関連付く施設の見学をできること、また簡単に見学できない施設の見学ができるため興味を持てる内容でした。 3.船で運ばれてきた飼料がここから道内各地まで運ばれる一連の過程を見ることができよい。 4.船が運んでいるモノにも焦点を当てているのが良いと思いました。船が関わる物流、そしてそれは到着した後、どのようなルートを通り私たちの元へ届くのか。目で見て解説を聞いて、より理解が深まると思います。 5.SDG s にからめていい。 6.流通の分野について詳しく学べる機会としては、提案の価値はあるとおもう
② あてはまらない 1	・事前学習が必要で、それがあれば見て学ぶ体験としてすごくいいと思った。
回答無し	・見るもの全てが初めてという生徒が多いと思います。

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 7	1.その場その場で解説がつくのでわかりやすかった。社会科の先生受けしそう。 2.実際に見学をしながら、説明を聴くことができるため、理解もしやすい内容でありました。 3.施設の方の説明は非常にわかりやすかったです。 4.事前の学習で、予備知識があれば中学生にとってもわかりやすい内容だと思う。 5.最初のオリエンテーションがとてもわかりやすかったです。プレゼンはもちろん、飼料の実物を見せてくださったりと、イメージしやすかったです。 6.流通の分野について詳しく学べる機会としては、提案の価値はあるとおもう
回答無し	・サイロや倉庫など、巨大な施設は映像や文章では伝わらないと思いますので、実際に目で見て感じる事ができるのが良いと思いました。

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

① あてはまる 5	1.見学内容としても、また人数が多くても分かれての見学も可能であると感じました。事前学習で学んでいないと、ただの見学になってしまいそうなので、事前学習で「物流」の学びのサポートができれば、より良い時間になるかと思いました。 2.ある程度の知識があれば内容もしっかりと理解できると思うし、普段はあまり表に出ない部分を知る、いいきっかけになると思った。 3.説明と見学がセットになっているので、とてもわかりやすいと思う。今回見学した大きな船はあまり着岸しないとのことでしたが、船がない場合の見学はどのようなになるのか気になりました。 4.帯広からの出発を考慮しても、フェリー乗船前に組み込みたい素材
② あてはまらない 2	1.RORO船と同じ。ぜひ組み込みたいが、受入先があつての見学なので、その時の情勢がどうなるかによると思う。 2.狭い通路が多く、40名一気には不可？
回答無し	・日によってどんな船が来ているのか？何を積んでいるのか？の差があるのは仕方がないが、船がないとサイロ見学の印象は大きく変わると思いました。

【水先人講話】

- ・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

① あてはまる 6	1.キャリア教育としてとてもおもしろいお話だった。 2.あまり知られていない職業であると思いますが、水先人さんの仕事を知ること、水先人の仕事を知る、新しい職業を知るきっかけになり、生徒様には関心を持たせられる内容でありました。 3.普段あまり知られていない職業であり興味を持てる内容だと思います。 4.知らなかった職業がどういったものなのかを詳しく説明してくれたので、わかりやすかった。 5.水先人というお仕事、水先人になるまでの経緯も面白かったです。海のスペシャリストという感じがしました。生徒たちにも出会ったことのない新しい職業観に触れてもらえると思います。 6.職業講話としては良い、キャリア教育的。
② あてはまらない 1	・講話の形式だと、なかなか集中力が持たないのが、学生の特徴かと思います。歴史を遡る点では、事前学習があれば、よいのかと。
回答無し	・「水先案内人」という言葉は知っていても、実際に何をしているか知らないと思うので、一つの職業として興味を引くものだと思います。

- ・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

①あてはまる 5	1.全く知らない職種であったが、わかりやすく説明していただけたので理解しやすかった。 2.どんな仕事なのか、新鮮な学びができる分かりやすい内容でありました。 3.専門用語なども多々あったが、それを理解できるようみ砕いて説明してくださったので中学生も理解できると思う。 4.動画を使ってお話ししてくださったので、イメージしやすかったです。船のお仕事はそもそも生徒たちにとってわからないことが多いと思うので、言葉より動画や写真がとても効果的だと思います。
② あてはまらない 2	1.いったいどの様な仕事なのかという点ではわかりやすい説明でした。中学生向きにはもう少し時間を短くしても良いと思います。 2.講話の形式だと、なかなか集中力が持たないのが、学生の特徴かと思います。歴史を遡る点では、事前学習があれば、よいのかと。
回答無し	・資料がしっかりしていたので、とてもわかりやすかったです。私個人としては、一番興味を持って最後まで話を伺う事ができました。

- ・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

① あてはまる 4	1.会場さえあれば開催できるので作りやすいと思う。見学全体の行程次第では時間をもう少し短くしてもいいかもしれない。 2.講話として新しい学びをすることができ、貴重な時間になると感じました。 3.普段の生活ではあまり知ることのない職業なので、すごく印象に残りやすいと思う。 4.講話なので組み込みやすい。港近くには大きな会場があると人数が多い学校でも受入できて良いなと思いますが、どうなのでしょう？
② あてはまらない 2	1.修旅、宿泊研修でなくても良いかと…。出前授業で札幌に来ればアリ。 2.帯広からの出発を考慮すると、要検討の素材
回答無し	・他では決して聞くことのない、貴重な話だと思いました。

【船長講話】

・旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

① あてはまる 7	1.これから乗るフェリーの船長だったので、船自体に親近感がわいた。先生方にもご挨拶の機会と安心感につながると思った。（知床のこともあったので） 2.普段では聴くことのできない内容を聴くことができ、聴いていて楽しく学ぶことができる内容でありました。 3.船長から直接お話を聞く機会はめったにないため興味がもてる内容だと思います。 4.船の中がどの部屋がこういった役割を担っているかなど、細かく説明してくれていたのでもわかりやすかった。 5.船のお仕事に携わったきっかけ、船長や船の仕事に就くにはどうしたら良いかなどもお話ししてくださったので、こちらに関心が持てました。 6.非常に興味を引かせる話し方だった。生徒も退屈しなさそう。 7.さすが船長という講演で、今回のスケジュールの中で後半部分にありましたが、興味がそそられる内容でした。学生目線でお話いただけるので、フェリー乗船前に、この機会があるのは、とてもよいと思います。
回答無し	・大きなフェリーの船長というのは、生徒たちにとってはすごい職業としてとらえると思います。お話も上手なので、生徒には喜ばれると思いました。

・旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 7	1.わかりやすいが、内容が最初の運輸局の話と被るのが気になった。水先案内人からの流れがよかったのでキャリア教育の観点からお話していただいてもよかったかも。（最後の女性活躍のお話を本題に入れてもいい） 2.資料や動画を使いながらの講話だったため、生徒様が聴いていても分かりやすく理解できる内容であると感じました。 3.話の内容・パワーポイントなどが工夫されており。中学生にもわかりやすく退屈しない内容だと思いました。 4.フェリー自体は乗り物として知っているが、実際に中がどうなっているのかを知ることができ中学生にはいい内容だと思った。 5.とてもフランクに話してくださって、動画や写真を織り交ぜたプレゼンと相まって、非常にわかりやすかったです。 6.進路的、キャリア教育的にもgood 7.さすが船長という講演で、今回のスケジュールの中で後半部分にありましたが、興味がそそられる内容でした。学生目線でお話いただけるので、フェリー乗船前に、この機会があるのは、とてもよいと思います。
----------------------	--

回答無し	・ 学生向けに資料が工夫されていたので、退屈せずに最後まで話を聞けるとおもいます。
------	---

- ・ 旅行行程に組み込みやすい内容だった。

① あてはまる 5	1.乗船前に講話を聴く流れがよかった。 2.知っていそうで知らない職業を詳しく学べる機会であったため、キャリア教育を取り込みたい旅程であれば、入れるべき内容であると感じました。 3.船長の説明も聞きやすく、ユーモアもあり面白かったので非常に印象に残りやすい内容だった。 4.講話のため組み込みやすいです。ですが、学校で利用する際、日時はだいぶ前から固まっていますが、船長さんのスケジュールはだいぶ前から確定されているものなのでしょうか？ 5.帯広からの出発を考慮しても、フェリー乗船前に組み込みたい素材
② あてはまらない 1	・ 160名程度入れる会場があれば良い。
回答無し	・ 面白かった！という印象が強く残ると感じました。

【フェリー船内・荷役見学】

- ・ 旅行提案先にとって、興味関心の持てる内容だった。

① あてはまる 4	1.普段見ることのできない光景を目にすることができるため、関心のある内容でしたが、学習効果は少しインパクトが弱いと感じました。 2.展望台からの見学となりましたが、解説があれば時間を割いてもいいのかなと思います。
② あてはまらない 3	1.客室見学は生徒にとっては不要だと思う。荷役見学はRORO船見学の有無による。 2.どちらかという、旅行会社や先生向けの内容だった。 3.RORO船同様に、事前の学習・興味によって効果はまちまちかと思っています。
回答無し	・ 思ったより船室は広く、共用部分の設備もきれいでした。今の生徒たちでも抵抗なく過ごせると感じました。

- ・ 旅行提案先にとって、わかりやすい内容だった。

① あてはまる 3	1.体験内容がシンプルなので提案はしやすい。 2.1日の振り返りとして良かったと思います。
② あてはまらない 3	1.内容としては分かりやすいものであったが、外で行うことで周囲の音で聞こえにくく、生徒様が集まって説明を受けるときに聞き取れるか不安点に感じました。 2.船内の部屋などがどうなっているかを見る内容だったので、旅行会社や先生向けの内容だった。

	3.RORO船同様に、事前の学習・興味によって効果はまちまちかと思っています。
回答無し	・「フェリー」というものの固定概念を持っている先生方も多いと思いますので、実際に見てもらうのが一番良いとおもいました。

・旅行行程に組み込みやすい内容だった。

① あてはまる 2	・雨が降っていなければ展望台での見学も良いと思います。
② あてはまらない 4	1.乗船後は班長会議や客室の破損点検の時間になることが多いので、あまり時間はさけないという印象。一般客が乗船するまでに時間の余裕があれば、甲板上で集合写真などに時間を使うかもしれない。 2.内容としては問題はないと思いますが、フェリーに乗船する前にバタバタしてしまうと、修学旅行では大変だと感じました。 3.内容が、学生というより旅行会社や先生向けだと思った。 4.帯広からの出発を考慮すると、要検討の素材
回答無し	・先生方には生徒の管理はしやすい環境だと思いますし、船に乗ること自体が一つの体験（経験）となり得るので、昔の夜行列車のように就学旅行のスタンダードになれば良いと思いました。

5. 修学旅行として実施するにあたり、改善すべき点を教えてください。（記述）

1.講話については、実際に実施する場合は1時間以内が限界だと思います。今回のように複数の方からお話を伺う場合は、連続して聞くのは難しいので、間に見学を挟みながら、効率的に学ぶスケジュールが組めると良いと思います。 2.各講話・見学地において言葉や説明が専門的で大人向けと感ずることが多々あった。 3.少人数だけでなく、ある程度の人数がいる規模を安全に実施できることが第一であると思うので、その対策を万全にするべきであると感じました。また、資料関係においても生徒様が理解できるような内容にすれば、より学習効果が高くなるのではないかと感じました。実施するにあたり、事前学習が重要になる内容であるため、事前学習のサポートまでできれば、より実りのある学習になると思います。 4.今後、これらのコンテンツを提案するにあたり、実施可能な時期や対応可能人数・料金等を明確にする必要があるかと思っています。 5.講話などはある程度日程を抑えやすいと思うが、RORO船の体験などはその時次第になってしまう部分もあるので、修学旅行では必ず見れるような保証があればより提案しやすい。 6.見学時間、受入人数、料金など、基本的なことがまだ調整中かと思っています。まずはこの部分を詰めてもらえると、私たち旅行会社も学校さんに提案しやすいです。（札幌市の学校では宿泊学習に非常に良いと思います）見学のコンテンツ自体は非常に素晴らしく、魅力あるものだと思いますし、苫小牧港さんでしか体験のできない内容だと思いますので、この部分を調整して頂きたいです。
--

- 7.講演型の素材は、船長のようなお話をされる方が中学生にはベストかと。
帯広（十勝地区）からの利用を考えると、午後に苫小牧到着し、
昼食 ➡ 見学（1箇所程度） ➡ 船長の講演 ➡ 船内へのパターンが理想かな
と。気になる点は、施設見学の受入人数です。同時に100名程度（3クラス）を受け入
れられる施設が魅力的です。
- 8.所要時間が明確なほうがいい。

**6. 修学旅行にフェリーを利用する場合に、ハードルと考えられることがあれば教えて
下さい。また、その解消策へのアドバイスがあれば教えて下さい。（記述）**

- 1.先生方にお話を伺ったところ、道内の学校が往路としてフェリーを使うのは出航時
間が遅いため、あまり望ましくないという声がありました。到着後の船酔いに影響も
懸念されていたようですので、復路利用の方が良いかもしれません。
- 2.フェリー乗降前後の時間の使い方をどうするか
➡見学が受け入れ先の都合など体験できない場合はどうするか。ウポポイはもちろ
ん、時代村、コロナが落ち着けば千歳や恵庭の工場見学も提案できる。
- 3.昼食を挟む場合の大人数が入る会場と移動時間の確保。復路でフェリー利用の場合は
団体での昼食弁当の手配業務。
- 4.フェリー内での保健室の確保、病人が出た際の対応
- 5.フェリー慣れしていない学校では東北内での現地体験活動を充実させたい先生方の声
もあるので、船中泊を入れるためには現状の2泊3日から3泊4日に戻してもらう働
きかけが必要。
- 6.費用がいくらになるのか。
- 7.おそらく変えようがないですが、出発時間の遅さが懸念されるかと思います。夜の出
発だと、いくら学習をしても学校を朝出発していても、移動できてないのは修学
旅行として時間を上手く使えていなく、学校側が実施を判断するのは難しいかと思
いました。また、フェリーでの移動時間を有効活用できるように事前に見学地で行うガ
イドの解説を見ておいて、その見学地に行って講話からではなく見学をすぐに実施す
るなどができれば、無駄な時間を減らすことができるのではないかと思います。
- 8.苫小牧・登別・室蘭市内の学校は現状2泊3日で苫小牧からJRを使って東北方面の
修学旅行がほとんどの中でフェリーを利用した2泊は行程がタイトになり難しい。
また、19時苫小牧出港となると初日は苫小牧にずっと滞在してしまうこととなるの
はネックである。また上記の質問に「旅行行程に組み込みやすい内容」ですがそれぞ
れに記載しました改善や工夫を行う事でさらに組み込みやすい内容になるかと思
います。
- 9.船酔いなどで懸念される部分もあるが、やはり出航時間が限られているのが厳しい、
大きい団体などであれば、その融通も聞くようであれば改善できると思う。

- 10.①運航時間（旅行日程3日間のうち、約1日が道内で過ごすことを学校側がどう捉えるか）②一般客との接触（旅館やホテルでも接触はありますが、食事は宴会場が貸切であったり、お部屋のフロア分けなどがあり、極力避けています）③急病人の対応④欠航時の対応
- 11.有事のときに船上ではできること限られてしまう。
- 12.船酔いへのケア

7. 今回の体験会に参加してみて、全体を通しての感想を教えてください。（記述）

- 1.施設見学もフェリーの乗船も、全く経験がないという生徒も少なくないと思うので、学校側が求める「体験させる」という部分では、新しい旅のスタイルとしてもっと取り入れられても不思議ではないと思いました。
- 2.フェリー・海運をテーマにした商材を体験する機会をいただき大変勉強になりました。船中泊での船酔いを一番不安に思っていましたがお過ごししてみると（個人差もあると思いますが）熟睡できるほど意外と快適で、buffet付き、温泉ありと設備の充実感に驚きました。そのままの感想を学校に伝えたいと思います。1日目の講義では全く知らなかった海運について実地見学込みで体験することができ、迫力もあって楽しかったです。具体的な感想は上で述べたので割愛させていただきます。2, 3日目はコーディネートしていただいた行程で充実した宮城巡りになりました。女川やフルーツパークでの街づくりのお話は、今回の体験会のように調整していただかないと聞ける機会はないのでとても有意義な時間でした。
お忙しい中、たくさんお時間をかけてご準備いただき、また当日も添乗していただき本当にありがとうございました。ぜひ学校様にフェリー利用修旅を前向きに検討いただけるよう尽力いたします。
- 3.内容に関しましては、様々な見学地に行くことができ非常に勉強になりました。
ただ、見学地での解説などは生徒にどんな内容を説明するかなど大枠の説明をしていただき、教育旅行で必要な情報（収容人数や見学目安時間など）や周辺に何があるのか自由見学時間などがあれば、より提案する際に活かすことができたかと思います。
また、各見学施設の職員の方々との名刺交換など交流できる時間をいただければ、嬉しかったです。おそらく、先生方と旅行業者が求めている情報は異なっていると思いますので、このような内容の濃い体験会を実施する際は完全に分けて実施していただければ、より良い内容を得られたかと感じました。
2泊3日とは思えない程の内容の詰まった体験会で、私としても非常に勉強になりました。ありがとうございました。また機会がありましたら、別の航路などの参加もさせていただきたいなと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。
- 4.ここでしか体験できないコンテンツとして非常にいいものだと感じました。胆振地区の学校がフェリーをりようした修学旅行というのは日程等の観点から課題があるかと思いますが、フェリーターミナル周辺のコンテンツは宿泊研修等で利用できるのではないかと思います。（フェリーを利用しないと本末転倒かもしれませんが・・・）
今後受入れ体制の詳細が固まりましたら学校へ提案を行ってまいります。

- 5.今回多くの体験をさせていただき非常に勉強になりました。修学旅行でのフェリー誘致に向け、いくつかハードルはありますが、少しずつ私も協力できるように日々セールスさせていただきたいと思います。この度は貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。
- 6.様々な箇所を見学させてもらい大変有意義な3日間となりました。特に1日目の苫小牧港での見学では、海の魅力・船の物流のすごさ・海の仕事など、様々な側面からの海洋学習は非常に魅力的でした。一方で、学校さんへ提案する私たち旅行会社としては、学校を受け入れとした想定をもう少し整えたうえで体験会を実施していただきたかったなというのは感じました。この度は誠にありがとうございました。
- 7.3日間ありがとうございました。修旅では利用できなくても、フェリーターミナル研修ができれば宿泊学習で活かせると思いました。1クラス40名×4クラスでフェリーターミナル周辺を見学するとなると、今回と同様過密スケジュールになると予想されるので、連携して、生徒が疲れないように工夫したいと思います。
- 8.修学旅行でのフェリー実施をしたことがない私にとっては、新鮮なものが多く、新しい発見ができるよい機会でした。ありがとうございます。いくつかの課題がある中でも、やはり学校（先生）として、フェリーに乗ることが、生徒への成長へつながると思っていただけるよう、我々も勉強し、提案できればと思います。今後、ご相談させていただくこともあるかと思いますので、よろしくお願いいたします。

令和5年度以降の予定事業(案)

事業名	No.	取組概要	具体的手法	R4年度		R5年度							R6年度以降	
				11月～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～12月	1月～3月		
送客事業	1	令和4年度事業の課題整理	関係者との意見交換	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2	北海道内中学校の修学旅行誘致	ファミトリップ実施		フェリー各社					○				
	3	芽室西中学校の受入準備	関係者との調整	○	受入									
	4	受入担当窓口等の整理	関係者との調整	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
誘客事業	5	東北地方中学校の修学旅行誘致	ファミトリップ実施	○	フェリー各社			○						
	6	首都圏の高校の教育旅行誘致	現地説明		旅館確保									
サポーター事業	7	北海道観光振興協議会との連携	協議事業との連携	○	-	-	-	○						
	8	北海道内中学校の教育旅行誘致	教育関係者等に対する説明		旅館確保								○	
	9	北海道内小学校の教育旅行誘致	教育関係者等に対する説明		旅館確保								○	
	10	北海道や高校のキャリア教育と連携した取組	教育関係者等に対する説明		旅館確保								○	
	11	札幌市立新築中学校受入準備	関係者との調整	○	-	受入								

R5年度の取組概要

R6年度以降

送客事業	No.1 令和4年度事業の課題整理 ・室蘭運輸支局内における課題整理 ・フェリー関係者との課題整理 ・関係事業者との課題整理 ・令和4年度事業の課題解消プラン作成	No.2 北海道内中学校の修学旅行誘致 ・道内の教育関係者等への事業説明 ・教育関係者等のファミトリップ実施 ・関係事業者との課題整理	No.3 芽室西中学校の受入準備 ・旅行会社との調整 ・関係事業者との調整 ・提供コンテンツの選定	No.4 受入担当窓口等の整理 ・受入窓口の整理 ・フェリー関係者と道内中学校の修学旅行誘致の役割分担見直し	・令和5年度事業の課題整理 ・北海道内中学校の修学旅行誘致 ・修学旅行誘致校の受入準備
	No.5 東北地方中学校の修学旅行誘致 ・フェリー関係者に対する事業提案 ・東北地方の私立中学校に対する事業説明 ・教育関係者のファミトリップ実施 ・道内周遊プランの作成、ITBとの連携	No.6 首都圏の高校の教育旅行誘致 ・道内の教育関係者等と連携し、教育機関に対する事業説明 ・首都圏の高校に対する事業説明	No.7 北海道観光振興機構との連携 ・フェリーを利用する教育旅行の策定依頼 ・連携事業を活用し教育関係者等に対する事業説明 ・連携事業を活用したコンテンツの磨き上げ	No.6について、令和5年度実施も見据え取り組む ・東北地方の中学校の修学旅行誘致 ・首都圏の高校の教育旅行誘致 ・北海道観光振興機構との連携	
誘客事業	No.8/No.9 北海道内の小中学校の教育旅行誘致 ・道内の旅行会社を活用し、教育関係者へ事業周知 ・教育関係者に対する事業説明	No.10 北海道内高校のキャリア教育と連携した取組 ・道内高校に対する事業説明 ・高校で実施するインターンシップ等の取組サポート	No.11 札幌市立新築中学校の受入準備 ・旅行会社との調整 ・関係事業者との調整 ・提供コンテンツの選定	No.8、No.9、No.10について、送客・誘客の各事業の進捗状況によっては令和6年度から実施	
	づか	り	事	業	